

道路区域線確定測量成果データ作成仕様

平成21年

大阪市建設局

目 次

第 1 章 成果データ

第 1 条	(電子媒体)	-----	1
第 2 条	(データ形式)	-----	1
第 3 条	(作成データ)	-----	1
第 4 条	(文字の様式)	-----	1
第 5 条	(工区定義データ)	-----	1
第 6 条	(座標データ)	-----	2
第 7 条	(結線データ)	-----	3

第 2 章 中心網地区調査測量データ作成仕様

第 1 節 座標データ測点名の作成

第 8 条	(公共基準点及び道路基準点測点名)	-----	4
第 9 条	(街区番号名)	-----	5
第 10 条	(街区点測点名)	-----	5
第 11 条	(道路区域点測点名)	-----	6
第 12 条	(すみ切り頂点測点名)	-----	6
第 13 条	(道路区域点(すみ切り頂点)測点名)	-----	8
第 14 条	(官有敷(水路)測点名)	-----	9
第 15 条	(官有敷(里道)測点名)	-----	10
第 16 条	(建築後退線測点名)	-----	11
第 17 条	(建築後退線(すみ切り頂点)測点名)	-----	14
第 18 条	(その他の測点名)	-----	15
第 19 条	(他工区(確定工区)の測点名)	-----	16
第 20 条	(他工区(未確定工区)の測点名)	-----	18

第 2 節 結線データの作成

第 21 条	(結線データの構成)	-----	19
第 22 条	(識別子)	-----	19
第 23 条	(グループ名)	-----	20
第 24 条	(測点名)	-----	20
第 25 条	(結線グループ)	-----	20

第26条	(公共基準点及び道路基準点結線グループ)	21
第27条	(街区点結線グループ)	24
第28条	(道路区域点結線グループ)	26
第29条	(すみ切り頂点結線グループ)	26
第30条	(道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ)	27
第31条	(官有敷(水路)結線グループ)	28
第32条	(官有敷(里道)結線グループ)	29
第33条	(建築後退線結線グループ)	30
第34条	(建築後退線(すみ切り頂点)結線グループ)	34
第35条	(その他の測点結線グループ)	34
第36条	(区画整理地区界線結線グループ)	36

第3節 データフォーマット

第37条	(座標データフォーマット)	37
第38条	(結線データフォーマット)	40

第3章 路線地区調査測量データ作成仕様

第1節 座標データ測点名の作成

第39条	(公共基準点及び道路基準点測点名)	42
第40条	(道路区域点測点名)	43
第41条	(道路区域点(すみ切り頂点)測点名)	44
第42条	(官有敷(水路)測点名)	45
第43条	(官有敷(里道)測点名)	47
第44条	(その他の測点名)	48
第45条	(他工区(確定工区)の測点名)	49
第46条	(他工区(未確定工区)の測点名)	51

第2節 結線データの作成

第47条	(結線データの構成)	52
第48条	(識別子)	52
第49条	(測点名)	52
第50条	(結線グループ)	53
第51条	(公共基準点及び道路基準点結線グループ)	54
第52条	(道路区域点結線グループ)	55
第53条	(道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ)	56

第54条	(官有敷(水路)結線グループ)	57
第55条	(官有敷(里道)結線グループ)	59
第56条	(その他の測点結線グループ)	60
第57条	(区画整理地区界線結線グループ)	61

第3節 データフォーマット

第58条	(座標データフォーマット)	62
第59条	(結線データフォーマット)	65

第4章 公共基準点及び道路基準点の記画像データ作成仕様

第60条	(データの仕様)	67
第61条	(データの精度)	67
第62条	(ファイル名)	67
第63条	(電子媒体)	67

付 録

- 付録. 1 保全工区名・保全工区番号連絡書
- 付録. 2 成果ディスクデータ作成要旨(中心網地区調査測量)
- 付録. 3 成果ディスクデータ作成要旨(路線地区調査測量)

第1章 成果データ

(電子媒体)

第1条 成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は原則CD-Rとする。

(データ形式)

第2条 CD-Rに納めるデータ形式は、MS-Windowsのテキストファイル形式とする。

(作成データ)

第3条 CD-Rに納めるデータは、工区定義データ及び座標データ、結線データとする。
なお、工区定義データ及び座標データ、結線データは、保全工区単位で作成するものとする。

(文字の様式)

第4条 データ作成時に使用する文字は、すべて半角かつ大文字で入力するものとする。
また、スペース、タブは使用しないものとする。

(工区定義データ)

第5条 工区定義データのファイル名称及びデータ内容は、以下のとおりとする。

- (1) 工区定義データのファイル名称は、「H○○○○○.TXT」とする。なお、○○○○○は、保全工区単位に付けられた5桁の保全工区番号である。
- (2) 工区定義ファイルには、道路区域線確定測量(中心網地区及び路線地区)で確定した保全工区番号、隣接工区保全工区番号(頭にA,B,D,F,等を付ける)、保全工区名、施工年度(頭に4を付ける)を格納するものとする。

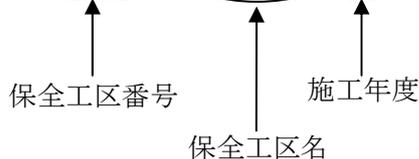
例) 工区定義データ「H○○○○○.TXT」

○○○○○, □□□, 419

A, ○○○○△, △△△△, 418

B, ○○○○▼, ▼▼▼▼, 417

D, ○○○○■, ■■■■, 416



(座標データ)

第6条 座標データのファイル名称及びデータ内容は、以下のとおりとする。

- (1) 座標データのファイル名称は、「Z〇〇〇〇〇〇.TXT」とする。なお、〇〇〇〇〇〇は、保全工区単位に付けられた5桁の保全工区番号である。
- (2) 座標データには、道路区域線確定測量(中心網地区及び路線地区)で確定した公共基準点、道路基準点、街区点、道路区域点、すみ切り頂点、道路区域点(すみ切り頂点)、官有敷(水路)、官有敷(里道)、建築後退線、建築後退線(すみ切り頂点)、その他の測点、他工区の測点の「測点名」、「X座標」、「Y座標」、「コメント行」、「拡張子」、「シリアルNo」を格納するものとする。なお、データフォーマットの詳細に関しては、第2章第3節及び第3章第3節を参照するものとする。

例) 座標データ「Z〇〇〇〇〇〇.TXT」

```
*****
* 保全工区名           : □□□
* 保全工区番号       : 〇〇〇〇〇
* データ内容         : 座標データ
* 作成年度(作成年月日) : 平成20年度 (H21. 03. 31)
* 修正年月日         :
* 作成会社           : △△△会社
*****
"Z", 0001, "1-1", -138983. 909, -41341. 907
"Z", 0002, "1-2", -138987. 557, -41345. 327
"Z", 0003, "1-3", -139022. 297, -41337. 146
      :
      :
"Z", 0401, "1-A", -138983. 158, -41346. 362
"Z", 0402, "1-B", -139024. 244, -41336. 687
"Z", 0403, "1-C", -139014. 573, -41301. 804
      :
      :
"Z", 1234, "30100001", -138971. 010, -41354. 435
"Z", 1235, "30100002", -139756. 930, -41287. 886
"Z", 1236, "30100003", -138985. 913, -41293. 923
```

(以下省略)

(結線データ)

第7条 結線データのファイル名称及びデータ内容は、以下のとおりとする。

- (1) 結線データのファイル名称は、「K〇〇〇〇〇.TXT」とする。なお、〇〇〇〇〇は、保全工区単位に付けられた5桁の保全工区番号である。
- (2) 結線データには、道路区域線確定測量（中心網地区及び路線地区）で確定した公共基準点、道路基準点、街区点、道路区域点、すみ切り頂点、道路区域点（すみ切り頂点）、官有敷（水路）、官有敷（里道）、建築後退線、建築後退線（すみ切り頂点）、その他の測点、他工区の測点の「測点名」、「コメント行」、「識別子」を格納するものとする。なお、データフォーマットの詳細に関しては、第2章第3節及び第3章第3節を参照するものとする。

例) 結線データ「K〇〇〇〇〇.TXT」

```
*****  
* 保全工区名           : □□□  
* 保全工区番号         : 〇〇〇〇〇  
* データ内容           : 結線データ  
* 作成年度（作成年月日） : 平成20年度（H21. 03. 31）  
* 修正年月日           :  
* 作成会社             : △△△会社  
*****  
"GC", "C1"  
"K", "30100001"  
"K", "30100002"  
"K", "30100003"  
"K", "30100004"  
"OC",  
"K", "40100001"  
"K", "40100002"  
"K", "40100003"  
"K", "40100004"  
:  
:  
"GG",  
"K", "1-1"  
"K", "1-2"  
"K", "1-3"  
"K", "1-4"
```

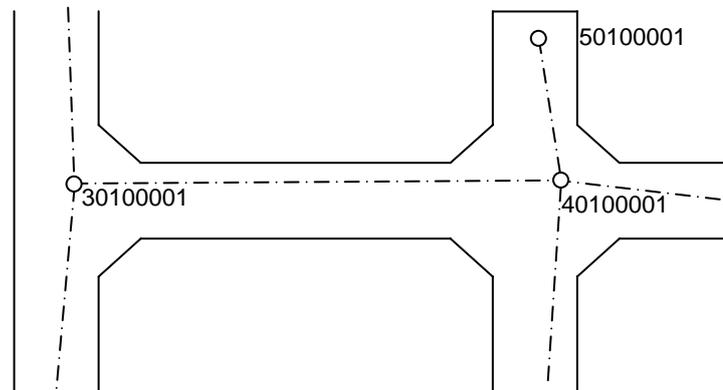
(以下省略)

第2章 中心網地区調査測量データ作成仕様

第1節 座標データ測点名の作成

(公共基準点及び道路基準点測点名)

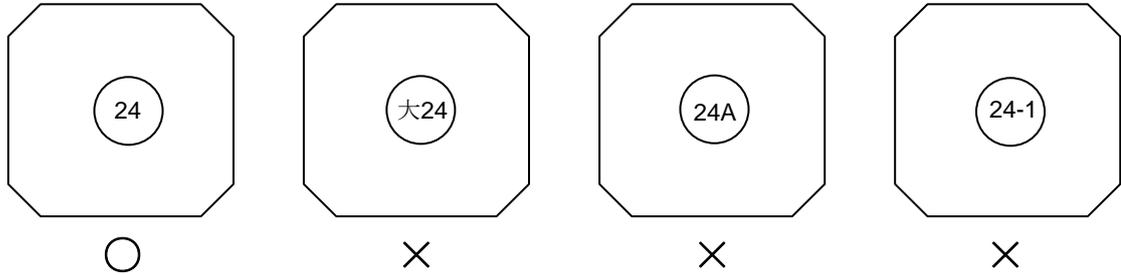
第8条 公共基準点及び道路基準点測点名は[等級] + [区番] + [点番]とする。なお、測点名に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。



- 2 [等級] は3~5級基準点を示す。使用できる文字数は1文字で数字の3、4、5のみ使用可とする。
- 3 [区番] の文字数は2文字で数字(0~9)のみ使用可とする。
- 4 [点番] の文字数は5文字で数字(0~9)のみ使用可とする。ゼロ埋めとする。
- 5 測点名は重複しない。
- 6 測点の文字数は全体で8文字とする。

(街区番号名)

第9条 街区番号は、自工区内で重複しない〔連番〕を符番するものとする。なお、〔連番〕に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

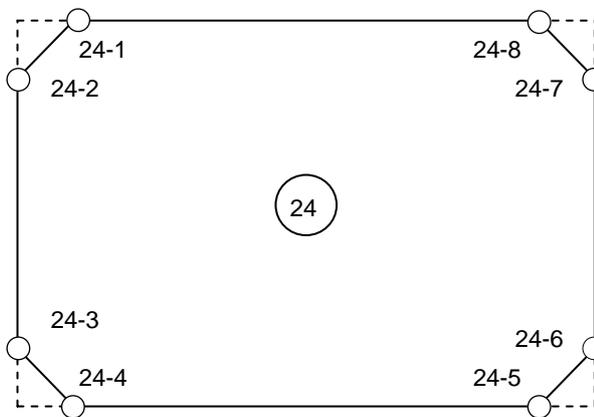


2 街区番号の文字数は、3文字以内とする。

(街区点測点名)

第10条 街区点測点名は〔街区番号〕+〔-〕+〔連番〕とする。なお、〔連番〕に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

2 〔連番〕は、街区の左上(北西方向)を「1」として左回りに増番するものとする。

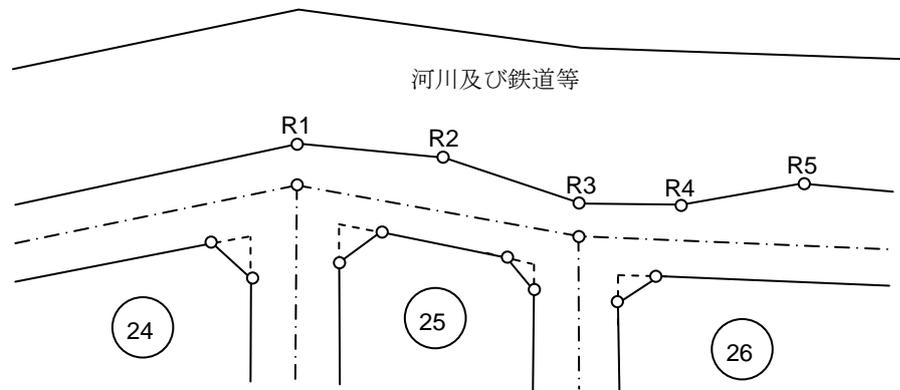


3 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

4 測点名の文字数は、6文字以内とする。

(道路区域点測点名)

第11条 道路区域点測点名は〔R〕＋〔連番〕とする。なお、〔連番〕に使用する文字は、数字(0～9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。



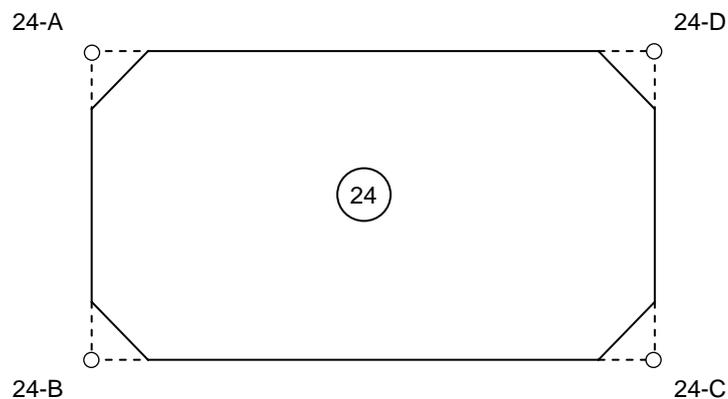
2 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

3 測点名の文字数は、6文字以内とする。

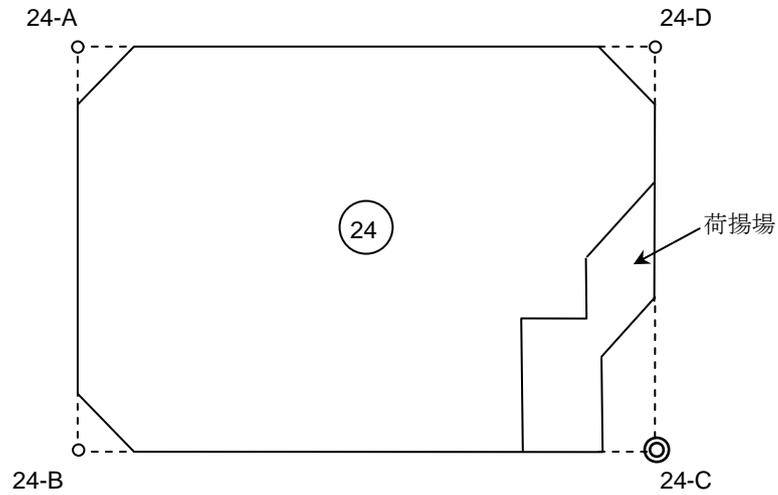
(すみ切り頂点測点名)

第12条 すみ切り頂点測点名は、〔街区番号〕＋〔-〕＋〔英字〕とする。なお、〔英字〕はアルファベット1文字で、大文字を使用するものとする。従って、「24-AB」「24-a」は不可とする。

2 〔英字〕は、街区の左上(北西方向)を「A」として左回りに「B」、「C」…と符番するものとする。



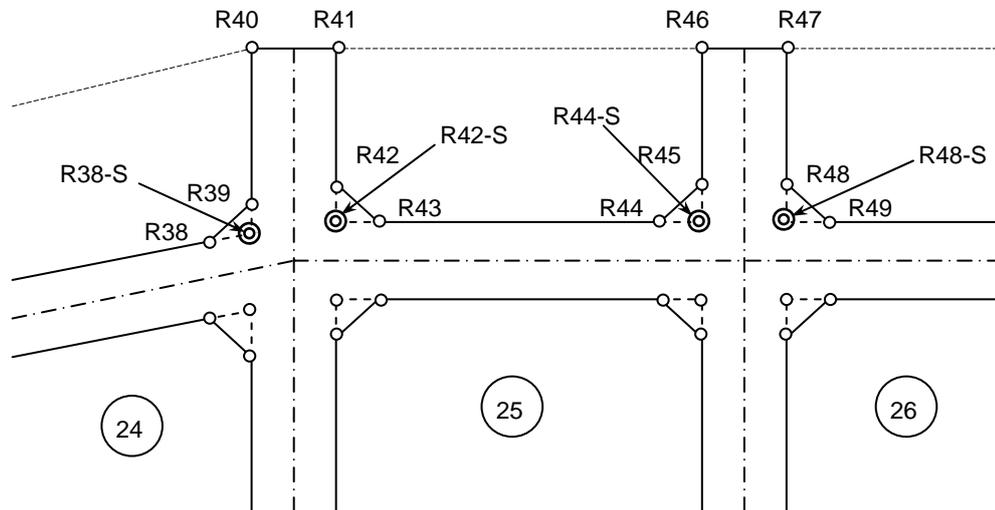
- 3 荷揚場の中に、すみ切り頂点が存在する場合（下図の「◎」）、測点名は[街区番号] + [-] + [英字] と符番するものとする。なお、[英字] はアルファベット1文字で、大文字を使用するものとする。従って、「24-AB」「24-a」は不可とする。



- 4 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。
- 5 測点名の文字数は、6文字以内とする。

(道路区域点 (すみ切り頂点) 測点名)

第13条 道路区域点 (すみ切り頂点) 測点名は、[R] + [連番] + [-] + [S]
とする。なお、[連番] に使用する文字は、数字 (0~9) のみとし、漢字、英字、
記号は使用しないものとする。

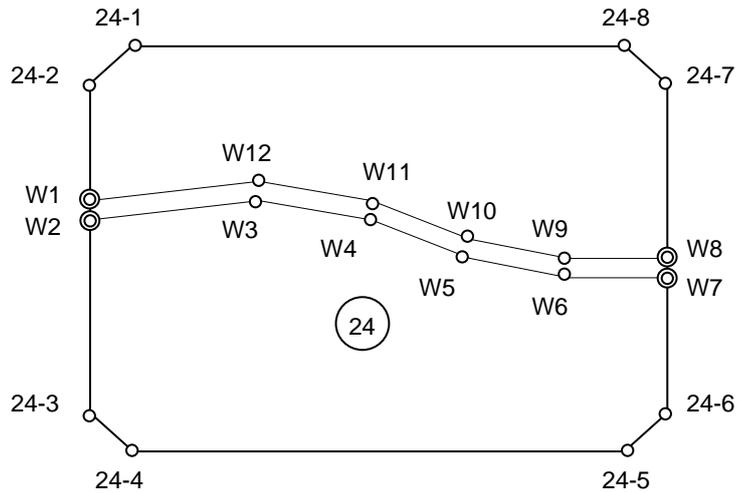


- 2 [連番] には、すみ切り部を形成する道路区域点のうち、数字の若い測点名を用いるものとする。
- 3 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。
- 4 測点名の文字数は、6文字以内とする。

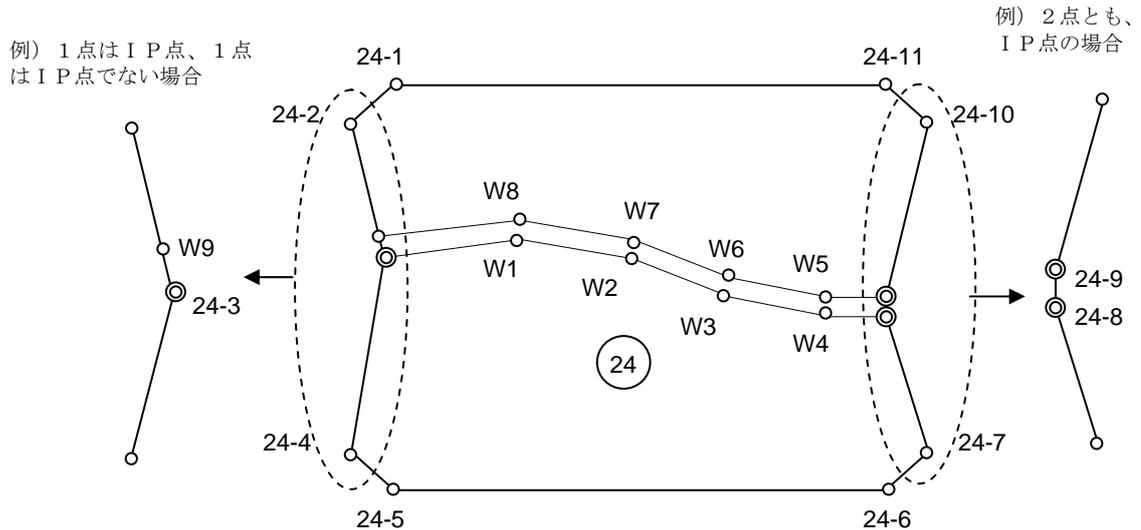
(官有敷(水路)測点名)

第14条 街区の中に官有敷(水路)がある場合、測点名は[W]+[連番]とする。なお、[連番]に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

2 街区線上に官有敷(水路)があり、かつ、この測点がIP点(折れ点)でない場合(下図の◎)、測点名は[W]+[連番]と符番するものとする。



3 街区線上に官有敷(水路)があり、かつ、この測点がIP点(折れ点)である場合(下図の◎)、測点名は10条の規定に準じて街区点測点名を符番するものとする。



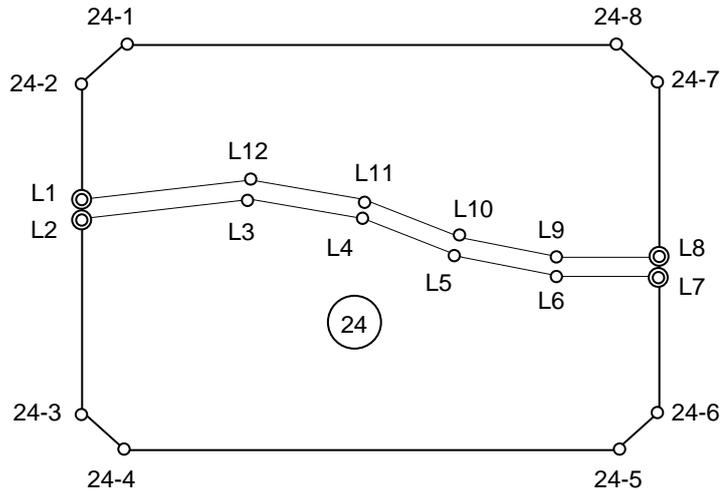
4 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

5 測点名の文字数は、6文字以内とする。

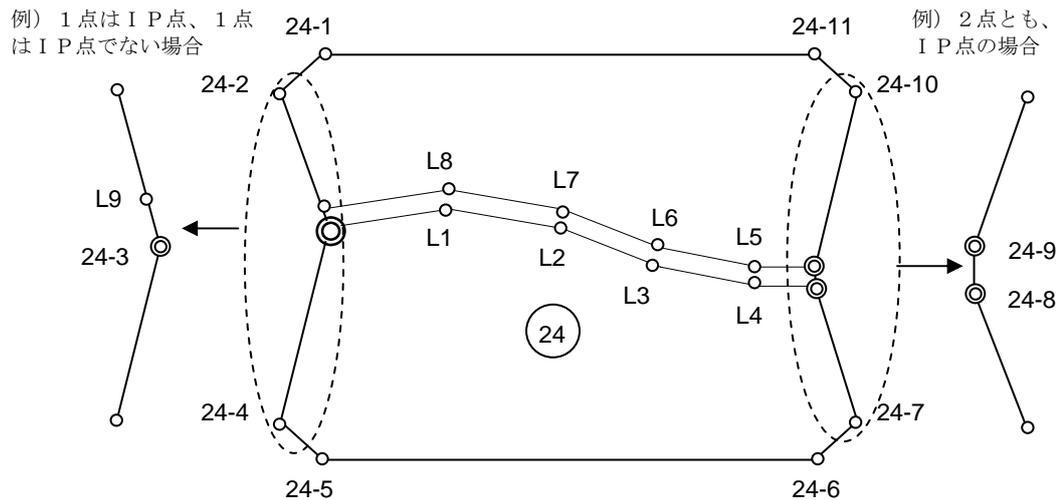
(官有敷(里道)測点名)

第15条 街区の中に官有敷(里道)がある場合、測点名は[L]+[連番]とする。なお、[連番]に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

2 街区線上に官有敷(里道)あり、かつ、この測点がIP点(折れ点)でない場合(下図の◎)、測点名は[L]+[連番]と符番するものとする。



3 街区線上に官有敷(里道)があり、かつ、この測点がIP点(折れ点)である場合(下図の◎)、測点名は第10条の規定に準じて街区点測点名を符番するものとする。

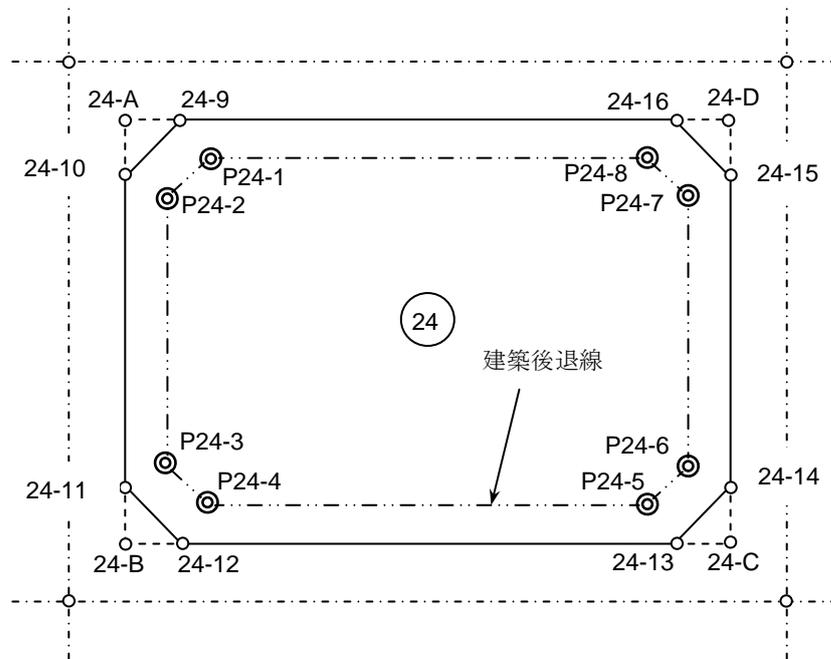


4 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

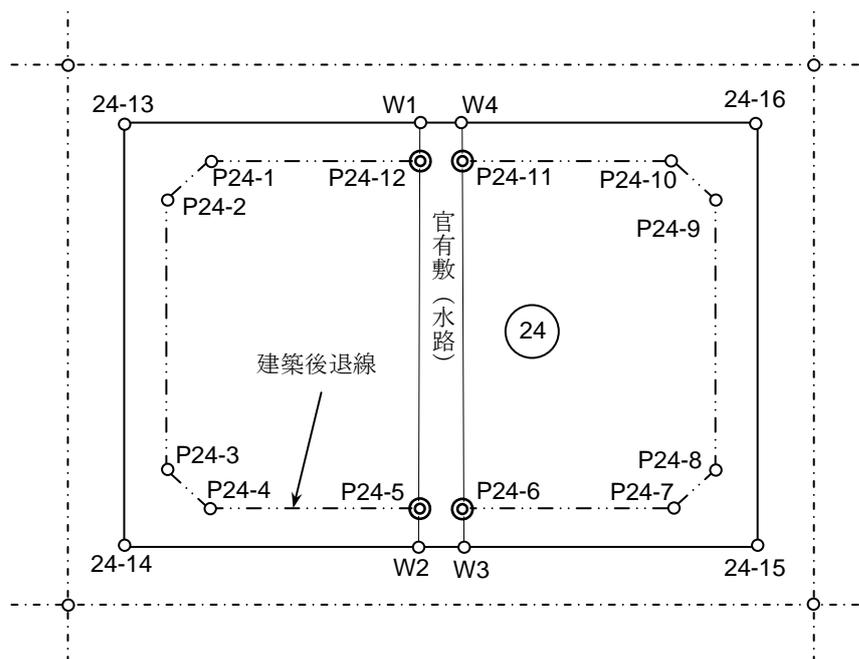
5 測点名の文字数は、6文字以内とする

(建築後退線測点名)

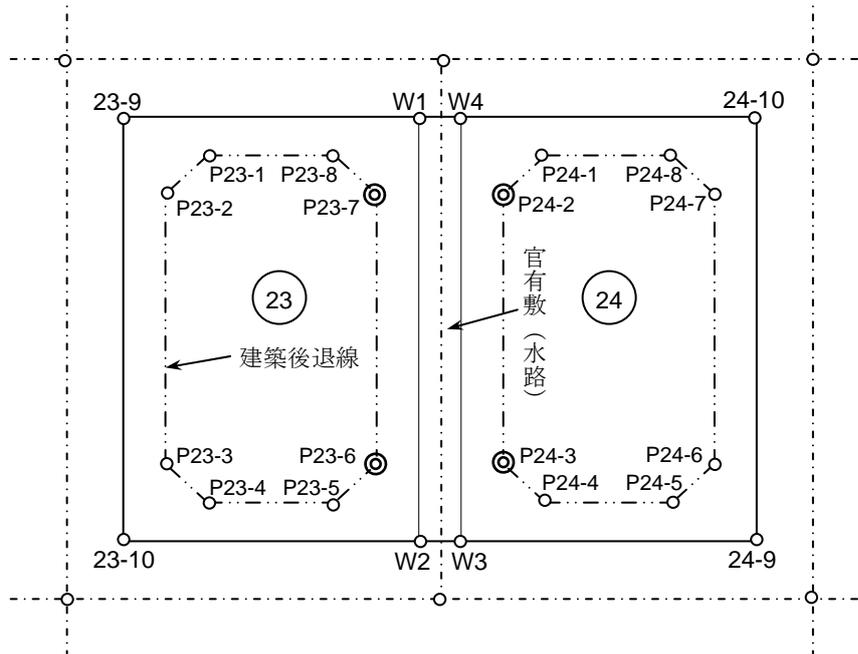
第16条 街区の中に、建築後退線が存在する場合(下図の◎)、測点名は[P]+[街区番号]+[-]+[連番]とする。なお、[連番]に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。
なお、建築後退線が存在する街区の街区点測点名は、建築後退線測点名の[連番]に続く数字を符番するものとする。



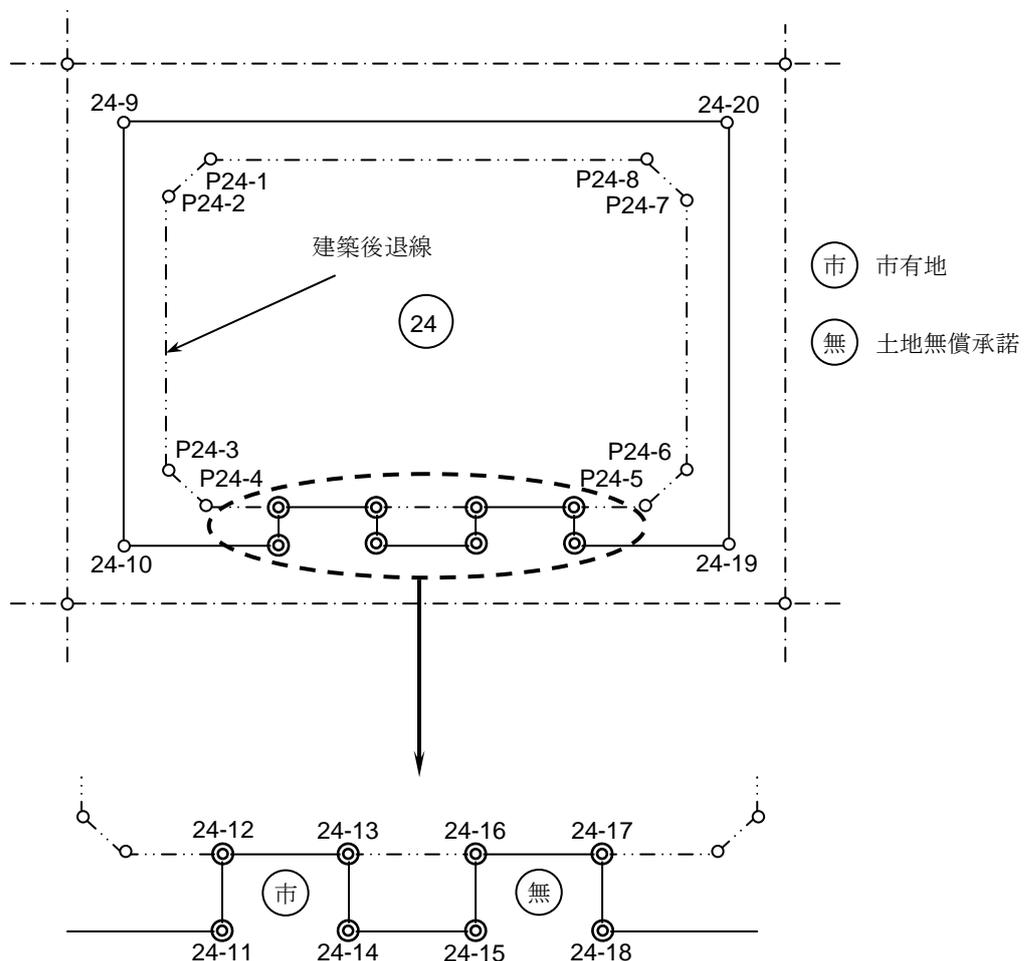
2 街区線や官有敷(水路)の上に建築後退線があり、かつ、この測点がIP点(折れ点)でない場合(下図の◎)、測点名は[P]+[街区番号]+[-]+[連番]とするものとする。



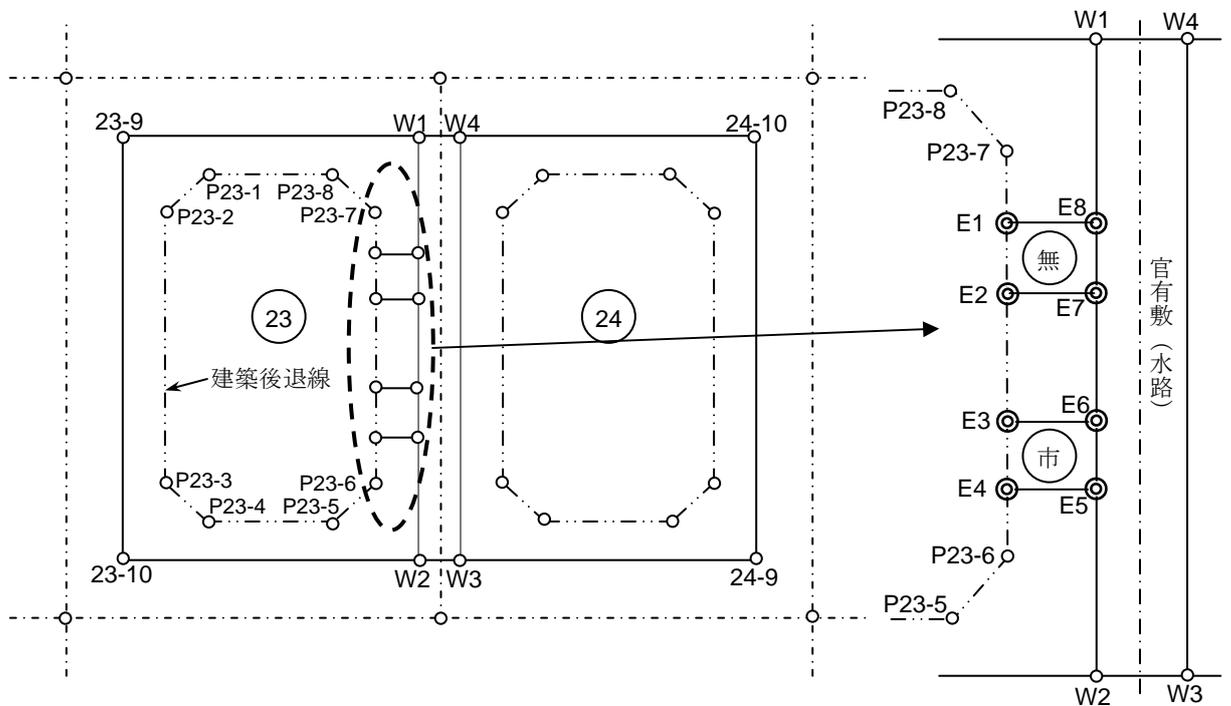
- 3 街区の中に建築後退線が存在し、かつ官有敷（水路）に並行している場合（下図の◎）、測点名は [P] + [街区番号] + [-] + [連番] とするものとする。



- 4 寄付帰属や土地無償承諾により、道路区域線が下図のような現況である場合（下図の◎）、測点名は第10条の規定に準じて街区点測点名を符番するものとする。
 なお、下図の◎を座標データに納める場合、「識別子」に [D] を使用するものとする。
 座標データの詳細については、本章第3節を参照するものとする。



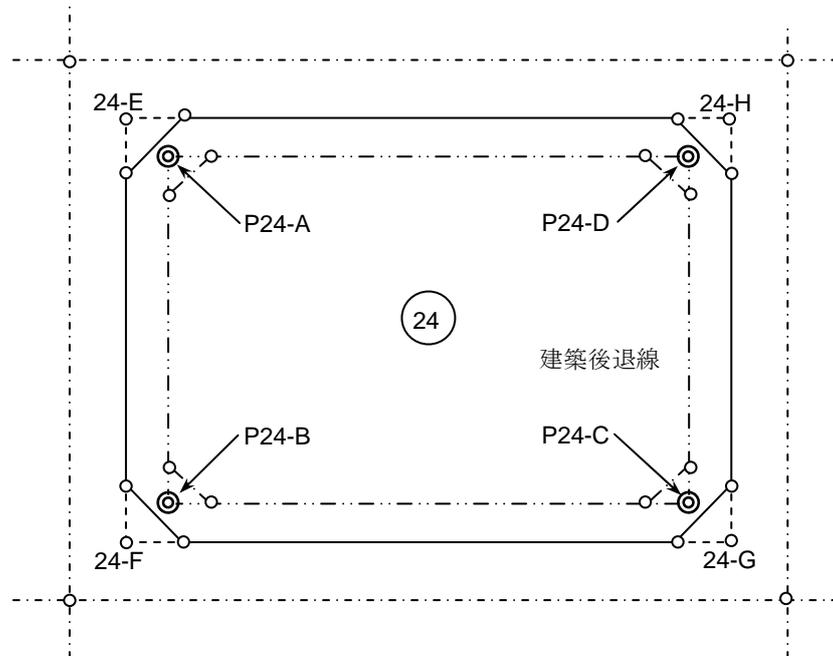
- 5 幅4 m未満の官有敷（水路）に並行して建築後退線が存在し、かつ寄付帰属や土地無償承諾により現況が下図のような場合（下図の◎）、測点名は第10条の規定に準じて、その他の測点名を符番するものとする。
 なお、下図の◎を座標データの詳細については、本章第3節を参照するものとする。



- 6 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。
- 7 測点名の文字数は、6文字以内とする

(建築後退線(すみ切り頂点)測点名)

第17条 建築後退線にすみ切り頂点が存在する場合(下図の◎)、測点名は〔P〕+〔街区番号〕+〔-〕+〔英字〕とする。〔英字〕はアルファベット1文字で、大文字を使用するものとする。従って、「P24-AB」「P24-a」は不可とする。なお、建築後退線が存在する街区のすみ切り頂点測点名は、建築後退線測点名の〔英字〕に続く英字を符番するものとする。



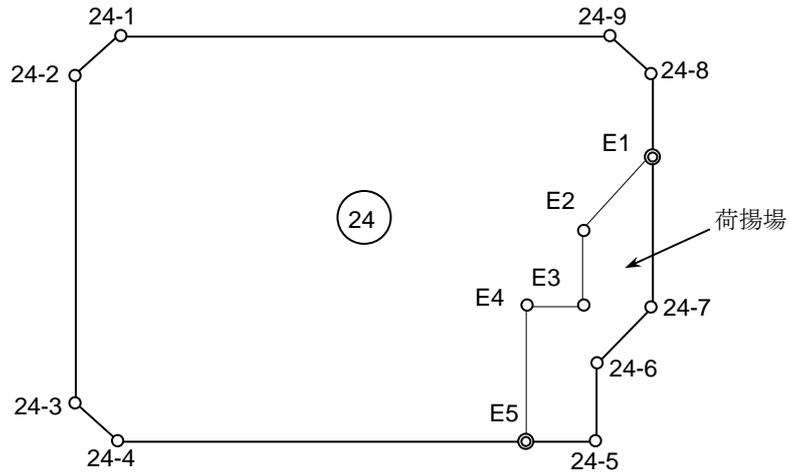
2 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

3 測点名の文字数は、6文字以内とする

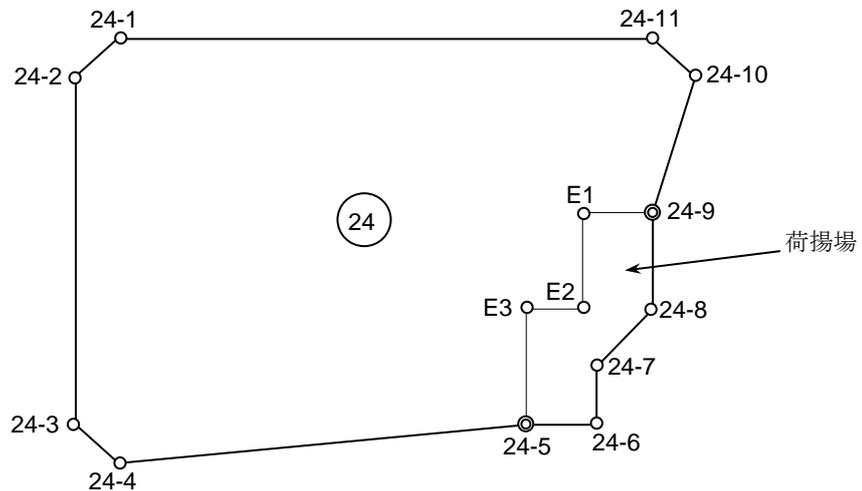
(その他の測点名)

第18条 街区の中に、その他の測点（非認定の荷揚場、河川敷、他局用地など）がある場合、測点名は〔E〕＋〔連番〕とする。なお、〔連番〕に使用する文字は、数字（0～9）のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

2 街区線の上にその他の測点あり、かつ、この測点がIP点（折れ点）でない場合（下図の◎）、測点名は〔E〕＋〔連番〕と符番するものとする。



3 街区線の上にその他の測点があり、かつ、この測点がIP点（折れ点）である場合（下図の◎）、測点名は第10条の規定に準じて街区点測点名を符番するものとする。



4 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

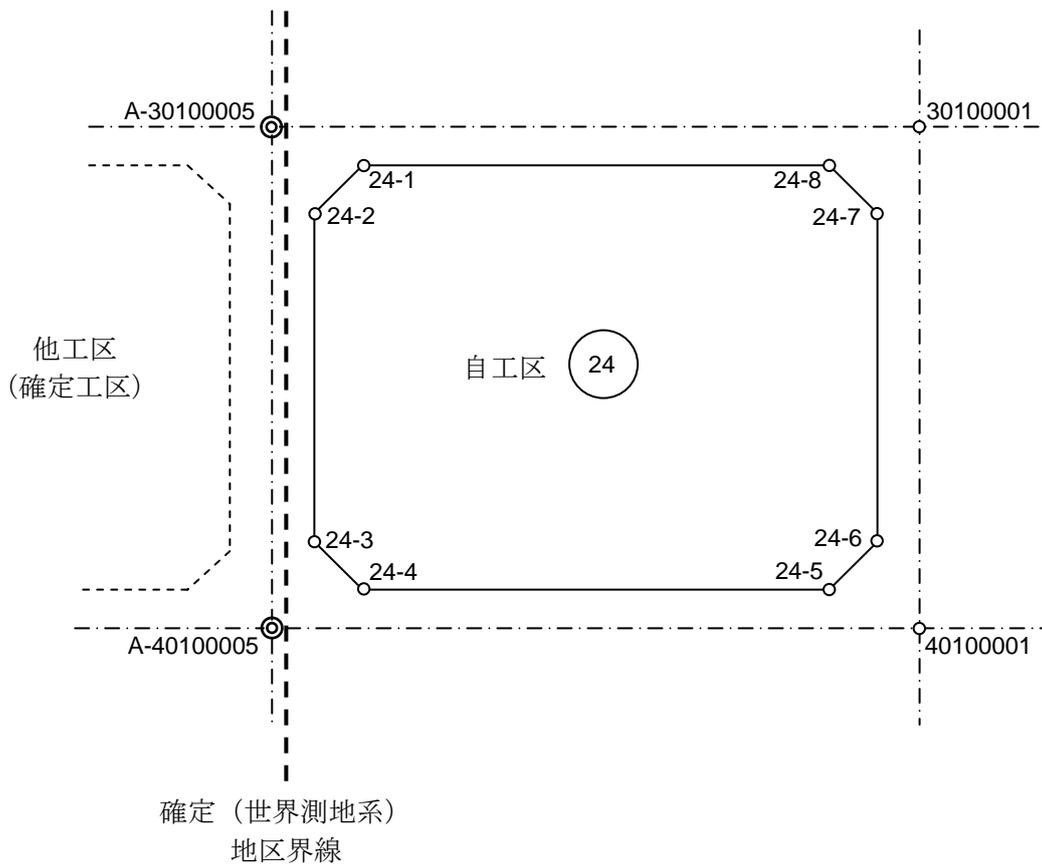
5 測点名の文字数は、6文字以内とする

(他工区 (確定工区) の測点名)

第19条 保全工区番号が異なる他工区の測点 (下図の◎) を、自工区の成果ディスクに納める場合は、他工区の測点名の先頭に [英字] + 「-」を付加するものとする。

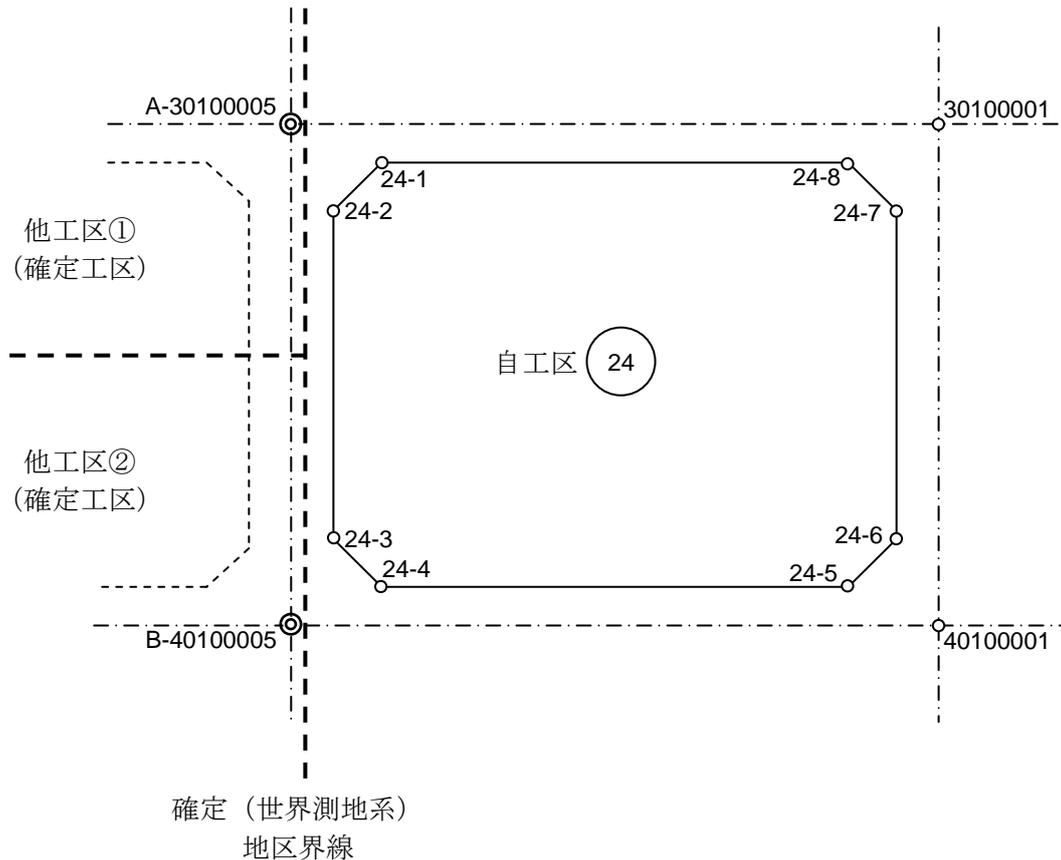
[英字] はアルファベット1文字で、大文字を使用するものとする。従って、「AB-30100005」「a-30100005」は不可とする。

例) 自工区の座標データに、他工区 (確定工区) の測点を納める場合。



2 他工区が複数存在する場合、各保全工区毎に、付加する [英字] を変えるものとする。

例) 自工区の座標データに、他工区① (確定工区) と他工区② (確定工区) の測点を納める場合は、他工区①の「測点名」の先頭に [A] + 「-」、他工区②の測点名の先頭に [B] + 「-」を就けるものとする。



3 [英字] が示す工区名称及び保全工区番号を、所定の用紙に明記するものとする (付録. 1 参照)。

4 [英字] に「 C 」 「 E 」 「 L 」 「 P 」 「 R 」 「 T 」 「 W 」 を使用しないものとする。従って、「C-30100005」 「E-40100005」などは不可とする。

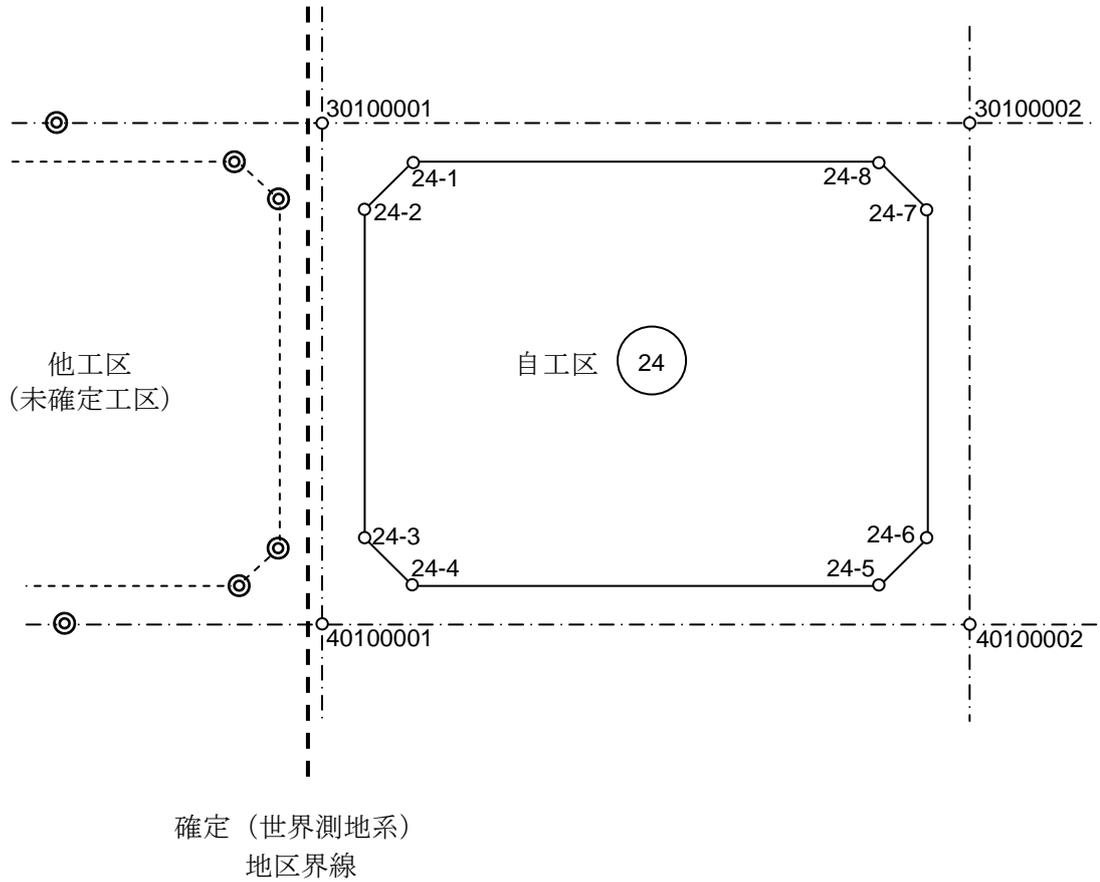
5 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

6 測点名の文字数は、10文字以内とする

(他工区 (未確定工区) の測点)

第20条 他工区 (未確定工区) に位置する測点については、自工区の座標データに納めないものとする。

例) 「◎」は、自工区の座標データに納めないものとする。



第2節 結線データの作成

(結線データの構成)

第2.1条 結線データは、「識別子」、「グループ名」、「測点名」の各項目で構成するものとする。

2 各項目の間は、[,] (カンマ) で区切るものとする。

例)

" GC" , " C24"	→	" 「識別子」" , " 「グループ名」"
" K" , " 30100001"		" 「 // 」" , " 「測点名」"
" K" , " 40100001"		" 「 // 」" , " 「 // 」"
" K" , " 40100002"		" 「 // 」" , " 「 // 」"
" K" , " 30100002"		" 「 // 」" , " 「 // 」"
:		

(識別子)

第2.2条 「識別子」には、アルファベット大文字の [GC] [GG] [GS] [GP] [PS] [OC] [OG] [OR] [OS] [OW] [OL] [OP] [OE] [B] [K] を使用する。なお、「識別子」は ["] (ダブルコーテーション) で囲むものとする。

2 [GC] [GG] [GS] [GP] [PS] [OC] [OG] [OR] [OS] [OW] [OL] [OP] [OE] [B] [K] は以下の意味を持つものとする。

(1) 識別子の頭に「G」もしくは「P」が付くものは閉合結線を意味する。

[GC] : 公共基準点及び道路基準点の閉合結線
[GG] : 街区点の閉合結線
[GS] : すみ切り頂点の閉合結線
[GP] : 建築後退線の閉合結線
[PS] : 建築後退線(すみ切り頂点)の閉合結線

(2) 識別子の頭に「O」が付くものは開放結線を意味する。

[OC] : 公共基準点及び道路基準点の開放結線
[OG] : 街区点の開放結線
[OR] : 道路区域点の開放結線
[OS] : 道路区域点(すみ切り頂点)の開放結線
[OW] : 官有敷(水路)の開放結線
[OL] : 官有敷(里道)の開放結線
[OP] : 建築後退線の開放結線
[OE] : その他の測点の開放結線
[B] : 区画整理地区界線の開放結線

(3) [K] は、閉合結線及び開放結線を構成する測点を表すものである。

(グループ名)

第23条 「識別子」が [GC] [GG] [GS] [GP] [PS] である行は、「識別子」の後に「グループ名」を付けるものとする。なお、「グループ名」は [”] で囲むものとする。

例)

```
” GC” ” C24”  
” K” ” 30100001”  
” K” ” 40100001”  
” K” ” 40100002”  
” K” ” 30100002”  
:
```

2 「識別子」が [OC] [OG] [OR] [OS] [OW] [OL] [OP] [OE] [B] である行は、「識別子」の後に「グループ名」を付けない。

例)

```
” OC”  
” K” ” 40100001”  
” K” ” 50100001”  
” OG”  
” K” ” 24-1”  
” K” ” 24-2”  
” K” ” 24-3”  
” K” ” 24-4”  
:
```

3 「識別子」が [K] である行は、[K] の後に「測点名」を付けるものとする。なお、「測点名」は [”] で囲むものとする。

(測点名)

第24条 「測点名」は、本章第1節の規定に準じて符番された公共基準点、道路基準点、街区点、道路区域点、すみ切り頂点、道路区域点(すみ切り頂点)、官有敷(水路)、官有敷(里道)、建築後退線、建築後退線(すみ切り頂点)、その他の測点、他工区の測点の測点名を用いるものとする。

(結線グループ)

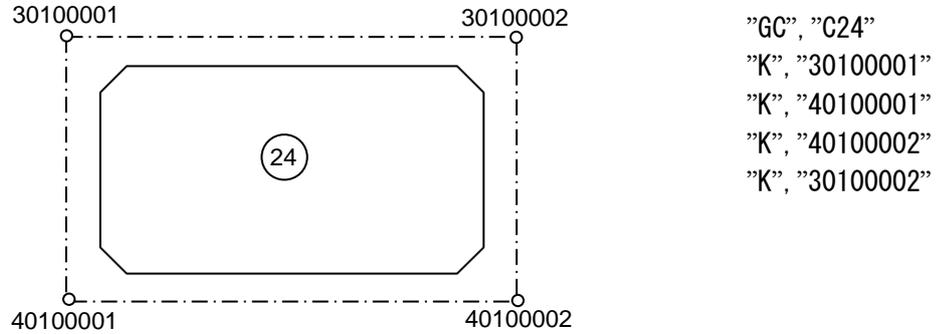
第25条 結線グループは、下記のグループに分けるものとする。

- ① 公共基準点及び道路基準点結線グループ : 「識別子」が [GC] [OC] である。
- ② 街区点結線グループ : 「識別子」が [GG] [OG] である。
- ③ 道路区域点結線グループ : 「識別子」が [OR] である。
- ④ すみ切り頂点結線グループ : 「識別子」が [GS] である。
- ⑤ 道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ : 「識別子」が [OS] である。
- ⑥ 官有敷(水路)結線グループ : 「識別子」が [OW] である。
- ⑦ 官有敷(里道)結線グループ : 「識別子」が [OL] である。
- ⑧ 建築後退線結線グループ : 「識別子」が [GP] [OP] である。
- ⑨ 建築後退線(すみ切り頂点)結線グループ : 「識別子」が [PS] である。
- ⑩ その他の測点結線グループ : 「識別子」が [OE] である。
- ⑪ 区画整理地区界線結線グループ : 「識別子」が [B] である。

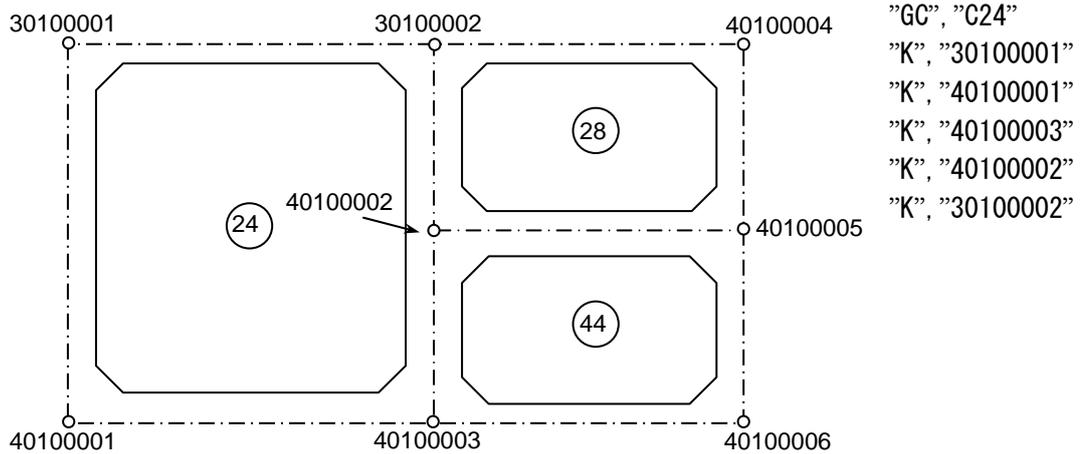
(公共基準点及び道路基準点結線グループ)

第26条 公共基準点及び道路基準点について、閉合結線及び開放結線を作成するものとする。

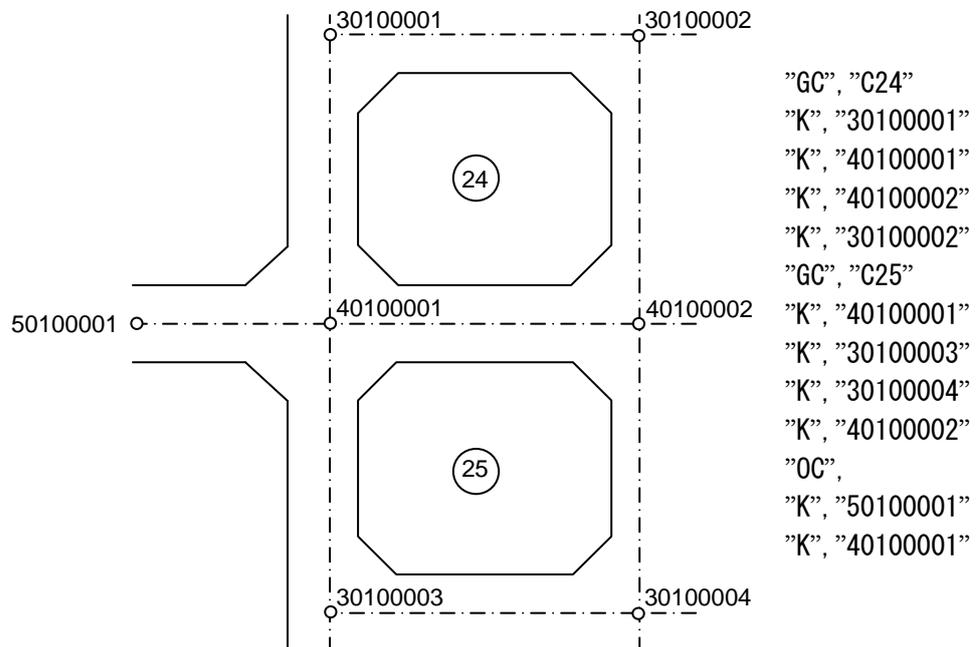
- 2 閉合結線を作成する場合は、「識別子」に [GC] を使用し、「グループ名」は「C」+「街区番号」とする。なお、閉合結線は街区単位に作成するものとする。



- 3 閉合結線を作成する場合は、街区に関わる全ての公共基準点及び道路基準点を含むものとする。

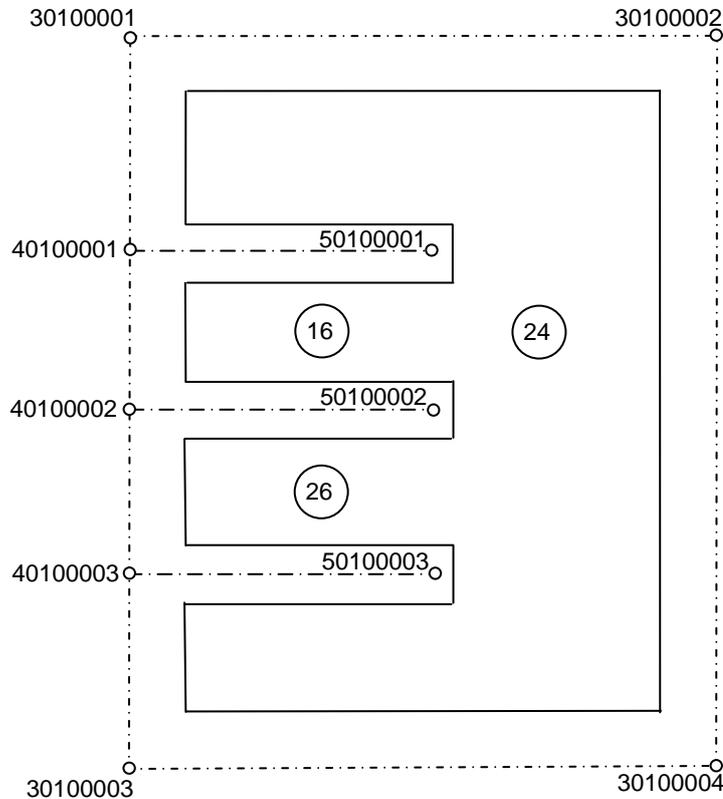


- 4 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [OC] を使用するものとする。



- 5 街区の形状が複雑な箇所において、複数の街区を囲んで閉合結線を作成する場合は、数字が1番若い街区番号を「グループ名」に採用する。

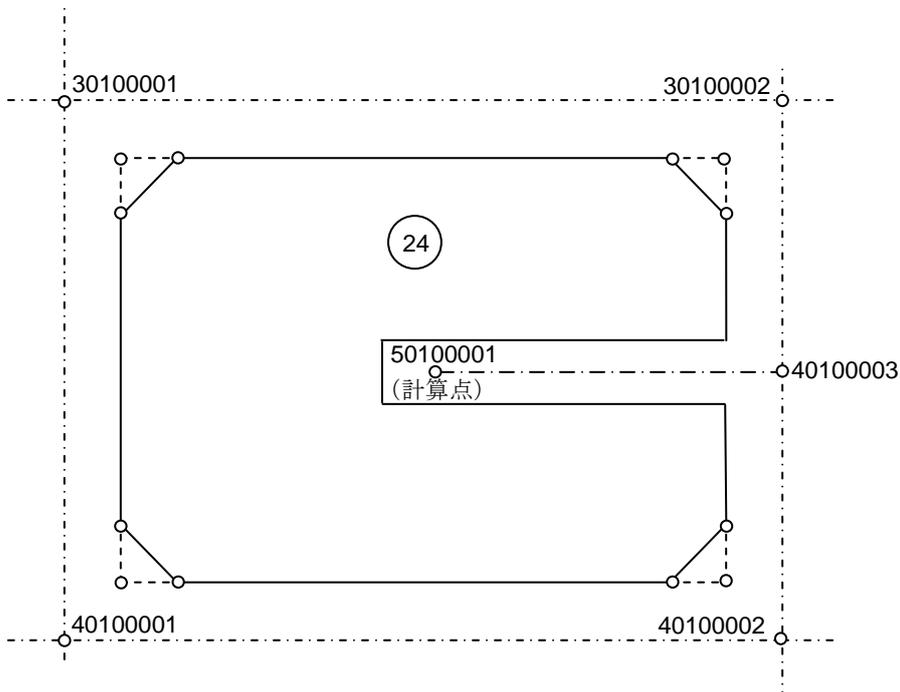
例) 街区番号16、24、26が存在する場合、数字が1番若い街区番号16を「グループ名」に採用する。



例)
 "GC", "C16"
 "K", "30100001"
 "K", "40100001"
 "K", "40100002"
 "K", "40100003"
 "K", "30100003"
 "K", "30100004"
 "K", "30100002"
 "OC",
 "K", "40100001"
 "K", "50100001"
 "OC",
 "K", "40100002"
 "K", "50100002"
 "OC",
 "K", "40100003"
 "K", "50100003"

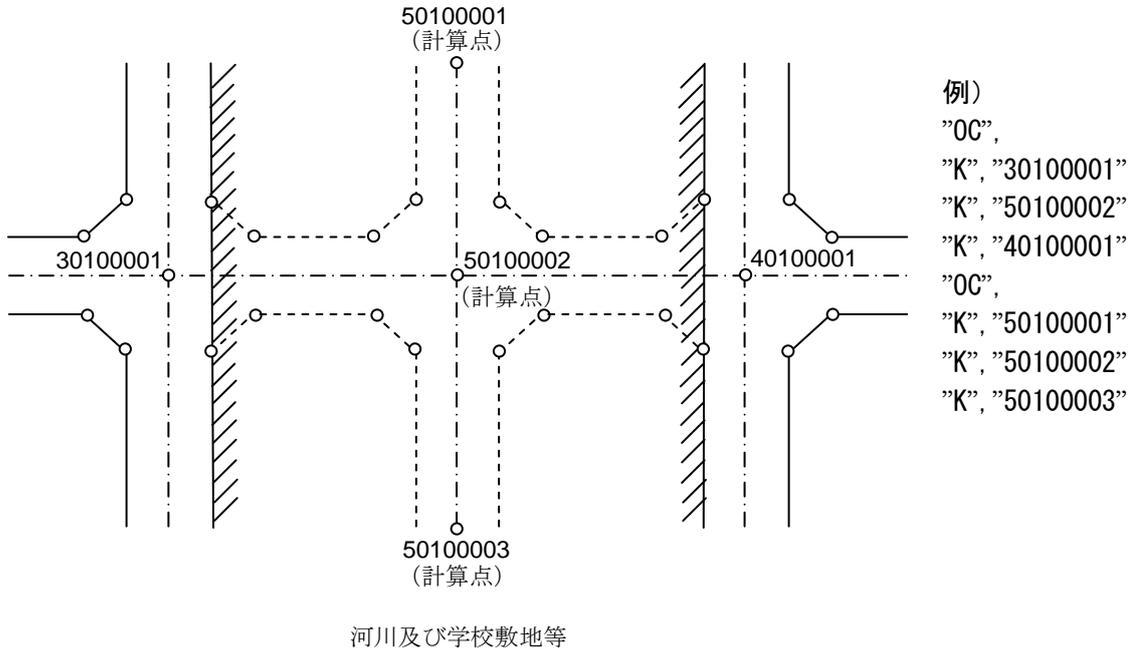
- 6 現地に埋標されていない道路基準点（計算点）も、結線グループに含めるものとする。

例1) 下図の「50100001」が計算点である場合、この点も開放結線に含むものとする。



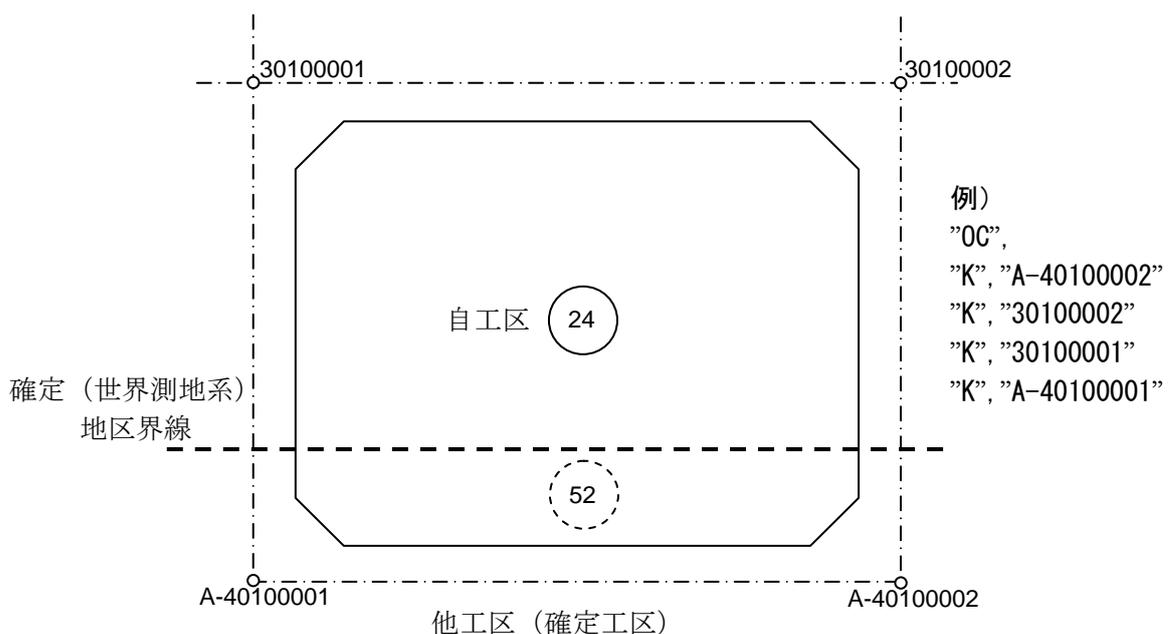
例)
 "GC", "C24"
 "K", "30100001"
 "K", "40100001"
 "K", "40100002"
 "K", "40100003"
 "K", "30100002"
 "OC",
 "K", "50100001"
 "K", "40100003"

例2) 下図の「50100001」「50100002」「50100003」が計算点である場合、この点も結線に含むものとする。



7 確定（世界測地系）地区界線により街区が複数に分割され、かつ、他工区（確定工区）が隣接している場合は、他工区（確定工区）の公共基準点及び道路基準点も用いて、開放結線を作成するものとする。「識別子」には [0C] を使用するものとする。

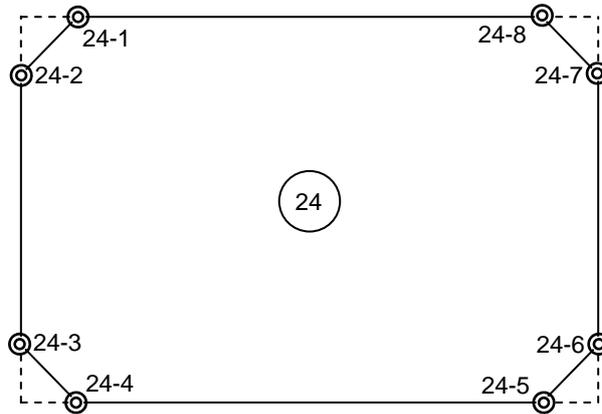
例) 他工区（確定工区）の公共基準点「A-40100001」「A-40100002」を自工区の結線データに納める。



(街区点結線グループ)

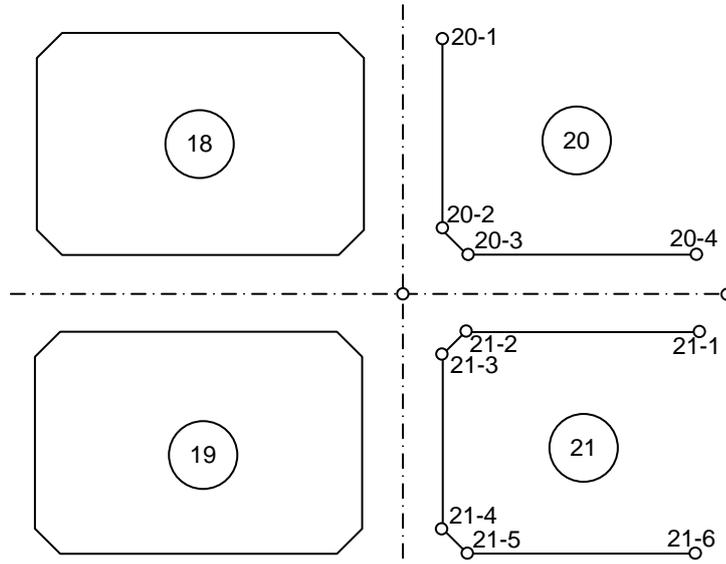
第 27 条 街区点について、閉合結線及び開放結線を作成するものとする。

- 2 閉合結線を作成する場合は、「識別子」に [GG] を使用し、「グループ名」は「街区番号」を使用する。なお、閉合結線は街区単位に作成するものとする。



例)
”GG”, ”24”
”K”, ”24-1”
”K”, ”24-2”
”K”, ”24-3”
”K”, ”24-4”
”K”, ”24-5”
”K”, ”24-6”
”K”, ”24-7”
”K”, ”24-8”

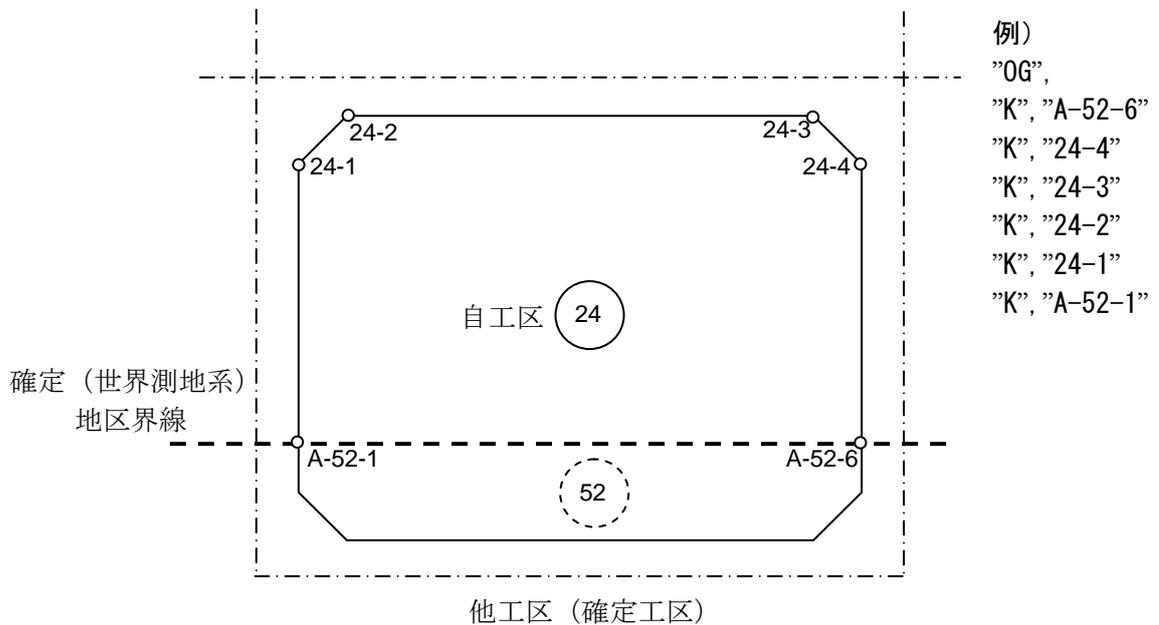
- 3 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [OG] を使用するものとする。



例)
”OG”,
”K”, ”20-1”
”K”, ”20-2”
”K”, ”20-3”
”K”, ”20-4”
”OG”,
”K”, ”21-1”
”K”, ”21-2”
”K”, ”21-3”
”K”, ”21-4”
”K”, ”21-5”
”K”, ”21-6”

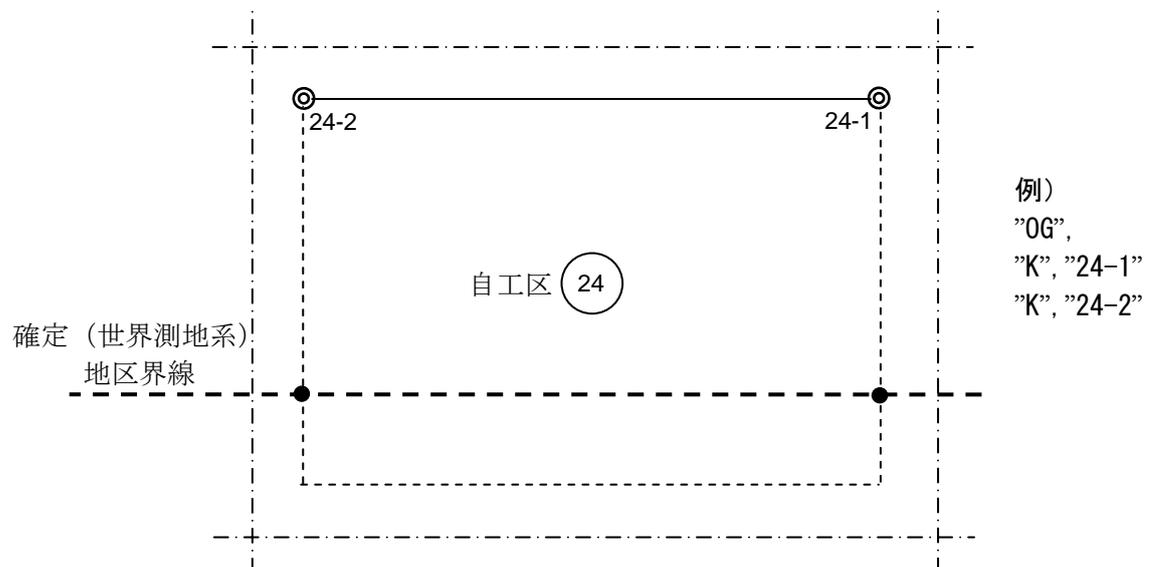
- 4 確定（世界測地系）地区界線により街区が複数に分割され、かつ他工区（確定工区）が隣接する場合は、他工区（確定工区）の街区点も用いて、開放結線を作成するものとする。「識別子」には [OG] を使用するものとする。

例) 他工区（確定工区）の街区点「A-52-1」「A-52-4」を自工区の結線データに含める。



- 5 確定（世界測地系）地区界線により街区が複数に分割され、かつ他工区（未確定工区）が隣接する場合は、成果ディスクにこれらの測点を納めないものとする。「識別子」には [OG] を使用するものとする。

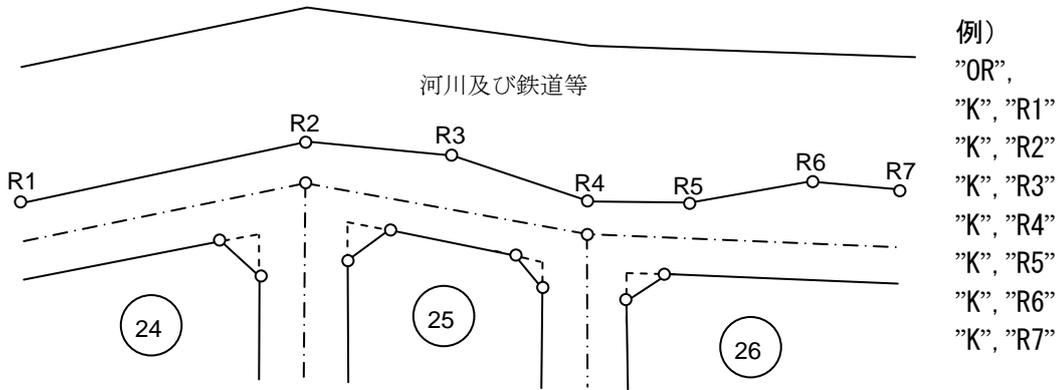
例) 他工区（未確定工区）の街区点「●」は自工区の結線データに含めないものとする。



(道路区域点結線グループ)

第28条 道路区域点について、開放結線を作成するものとする。

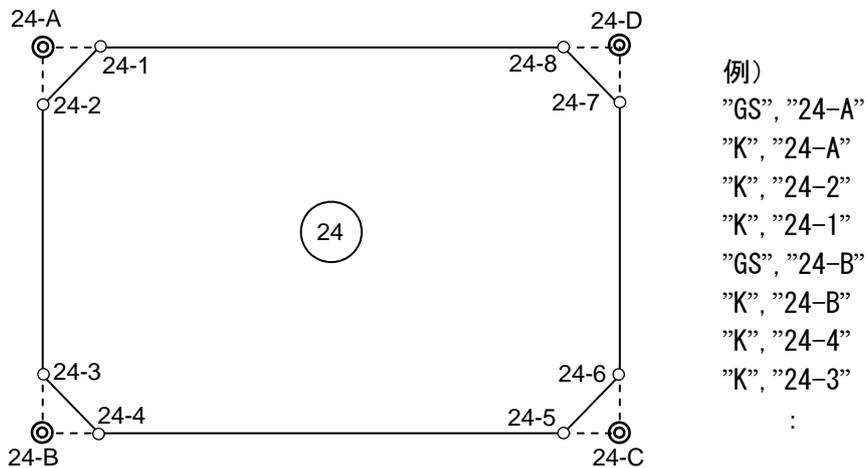
2 閉合結線を作成する場合は、「識別子」に [OR] を使用するものとする。



(すみ切り頂点結線グループ)

第29条 すみ切り頂点を含む、すみ切り部について、閉合結線を作成するものとする。

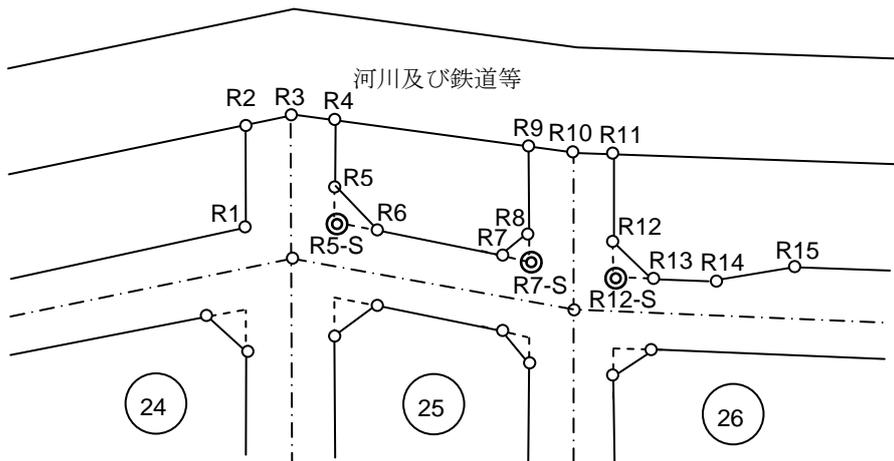
2 閉合結線を作成する場合は、「識別子」に [GS] を使用し、「グループ名」は「すみ切り頂点名」を用いるものとする。なお、閉合結線はすみ切り部単位に作成するものとする。



(道路区域点 (すみ切り頂点) 結線グループ)

第30条 道路区域点 (すみ切り頂点) について、開放結線を作成するものとする。

- 2 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [OS] を使用するものとする。
- 3 道路区域点 (すみ切り頂点) 測点名が符番されているすみ切り部については、[OS] を用いて開放結線を作成する。なお、[OS] を用いて閉合形状の結線を作成する場合は、起点と終点を重複して入力するものとする。

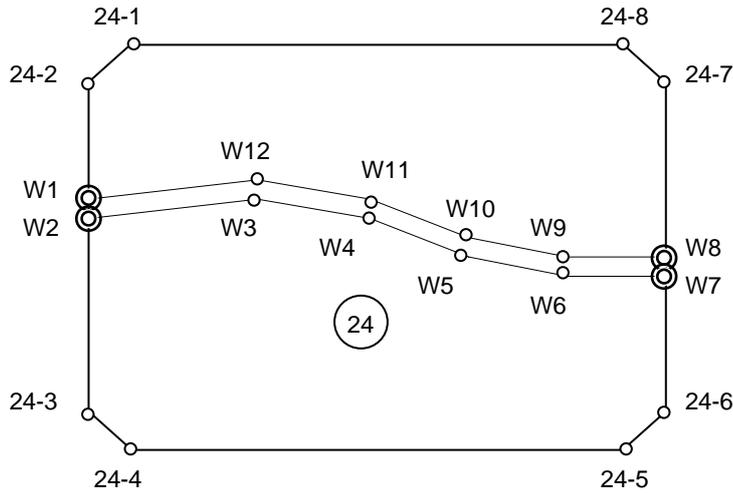


例)
"OS",
"K", "R5-S"
"K", "R6"
"K", "R5"
"K", "R5-S"
"OS",
"K", "R7-S"
"K", "R8"
"K", "R7"
"K", "R7-S"
"OS",
"K", "R12-S"
"K", "R13"
"K", "R12"
"K", "R12-S"

(官有敷 (水路) 結線グループ)

第 3 1 条 官有敷 (水路) について、開放結線を作成するものとする。「識別子」に [OW] を使用するものとする。

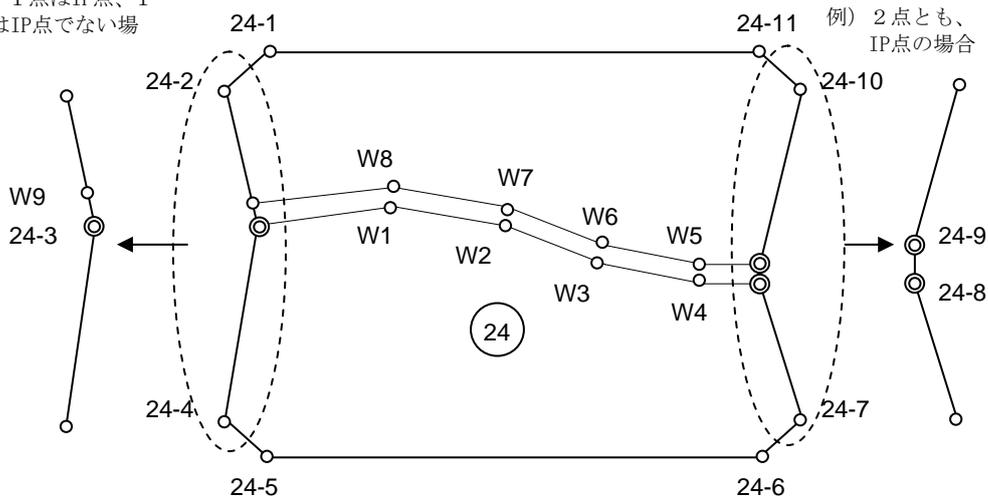
2 街区線路上に官有敷 (水路) があり、かつ、この測点が IP 点 (折れ点) でない場合 (下図に「◎」)、これらの測点を街区線結線に含まないものとする。



例)
 "GG", "24"
 "K", "24-1"
 "K", "24-2"
 "K", "24-3"
 "K", "24-4"
 "K", "24-5"
 "K", "24-6"
 "K", "24-7"
 "K", "24-8"
 "OW",
 "K", "W1"
 "K", "W12"
 "K", "W11"
 "K", "W10"
 "K", "W9"
 "K", "W8"
 "OW",
 "K", "W2"
 "K", "W3"
 "K", "W4"
 "K", "W5"
 "K", "W6"
 "K", "W7"

3 街区線路上に官有敷 (水路) があり、かつ、この測点が IP 点 (折れ点) である場合 (下図の「◎」)、これらの測点を街区線結線に含まないものとする。

例) 1 点は IP 点、1 点は IP 点でない場合



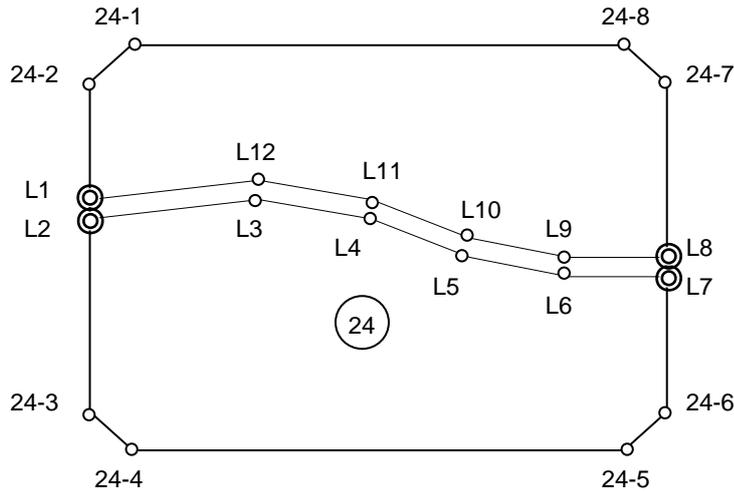
例) 2 点とも、IP 点の場合

例)
 "GG", "24"
 "K", "24-1"
 "K", "24-2"
 "K", "24-3"
 "K", "24-4"
 "K", "24-5"
 "K", "24-6"
 "K", "24-7"
 "K", "24-8"
 "K", "24-9"
 "K", "24-10"
 "K", "24-11"
 "OW",
 "K", "W9"
 "K", "W8"
 "K", "W7"
 "K", "W6"
 "K", "W5"
 "K", "24-9"
 "OW",
 "K", "24-3"
 "K", "W1"
 "K", "W2"
 "K", "W3"
 "K", "W4"
 "K", "24-8"

(官有敷(里道)結線グループ)

第32条 官有敷(里道)について、開放結線を作成するものとする。「識別子」に「OL」を使用するものとする。

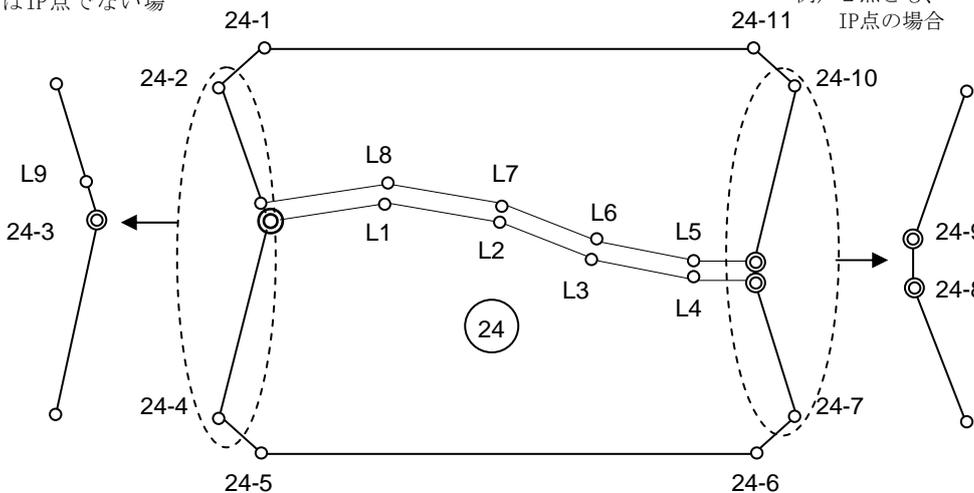
2 街区線上に官有敷(里道)があり、かつ、この測点がIP点(折れ点)でない場合(下図の「◎」)、これらの測点を街区線結線に含まないものとする。



例)
 "GG", "24"
 "K", "24-1"
 "K", "24-2"
 "K", "24-3"
 "K", "24-4"
 "K", "24-5"
 "K", "24-6"
 "K", "24-7"
 "K", "24-8"
 "OL",
 "K", "L1"
 "K", "L12"
 "K", "L11"
 "K", "L10"
 "K", "L9"
 "K", "L8"
 "OL",
 "K", "L2"
 "K", "L3"
 "K", "L4"
 "K", "L5"
 "K", "L6"
 "K", "L7"

3 街区線上に官有敷(里道)があり、かつ、この測点がIP点(折れ点)である場合(下図の「◎」)、これらの測点を街区線結線に含むものとする。

例) 1点はIP点、1点はIP点でない場合



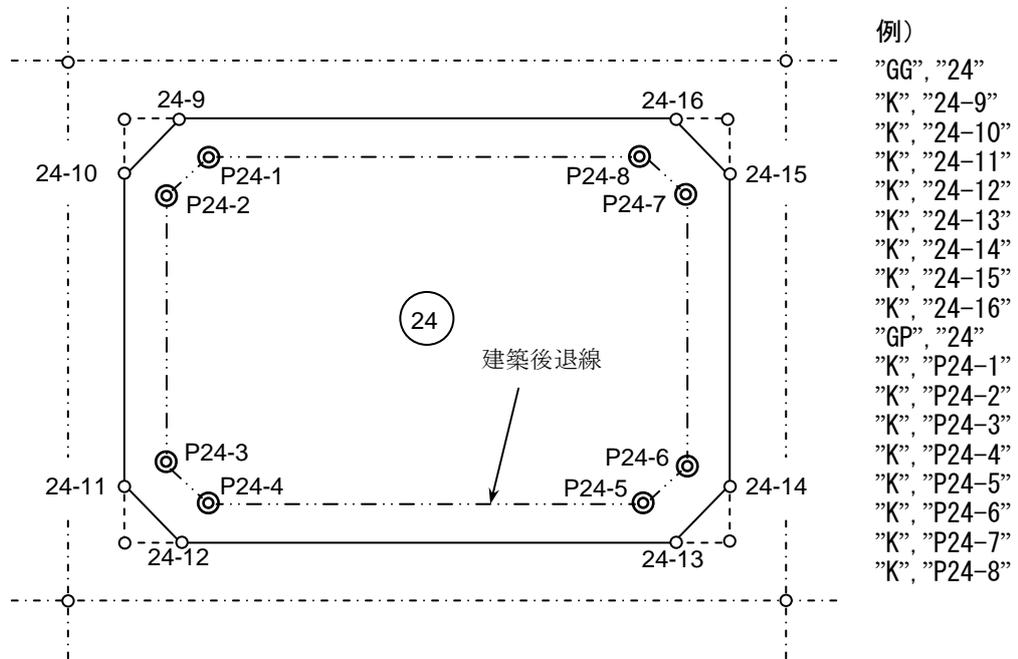
例) 2点とも、IP点の場合

例)
 "GG", "24"
 "K", "24-1"
 "K", "24-2"
 "K", "24-3"
 "K", "24-4"
 "K", "24-5"
 "K", "24-6"
 "K", "24-7"
 "K", "24-8"
 "K", "24-9"
 "K", "24-10"
 "K", "24-11"
 "OL",
 "K", "L9"
 "K", "L8"
 "K", "L7"
 "K", "L6"
 "K", "L5"
 "K", "24-9"
 "OL",
 "K", "24-3"
 "K", "L1"
 "K", "L2"
 "K", "L3"
 "K", "L4"
 "K", "24-8"

(建築後退線結線グループ)

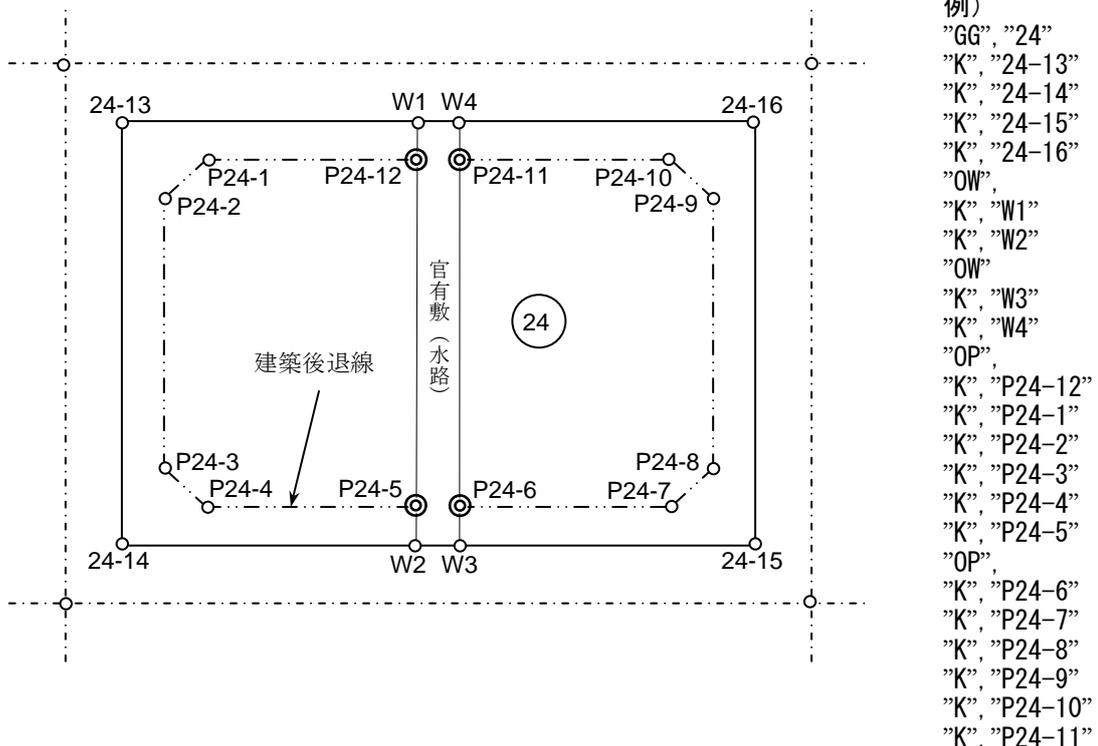
第33条 建築後退線について、閉合結線及び開放結線を作成するものとする。

- 2 閉合結線を作成する場合は、「識別子」に [GP] を使用し、「グループ名」は街区番号を使用する。なお、閉合結線は街区単位に作成するものとする。

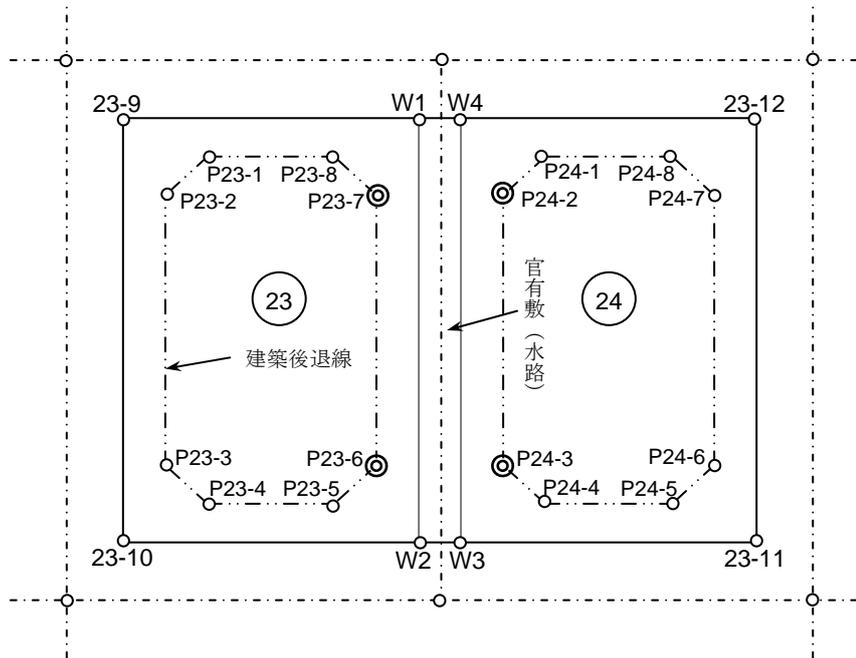


- 3 街区線や官有敷（水路）の上に建築後退線があり、かつ、この測点が I P 点（折れ点）でない場合（下図の「◎」）、これらの測点を街区点結線や官有敷（水路）結線に含まないものとする。

なお、建築後退線の結線を行う場合は、開放結線を作成するものとし、「識別子」に [OP] を使用するものとする。

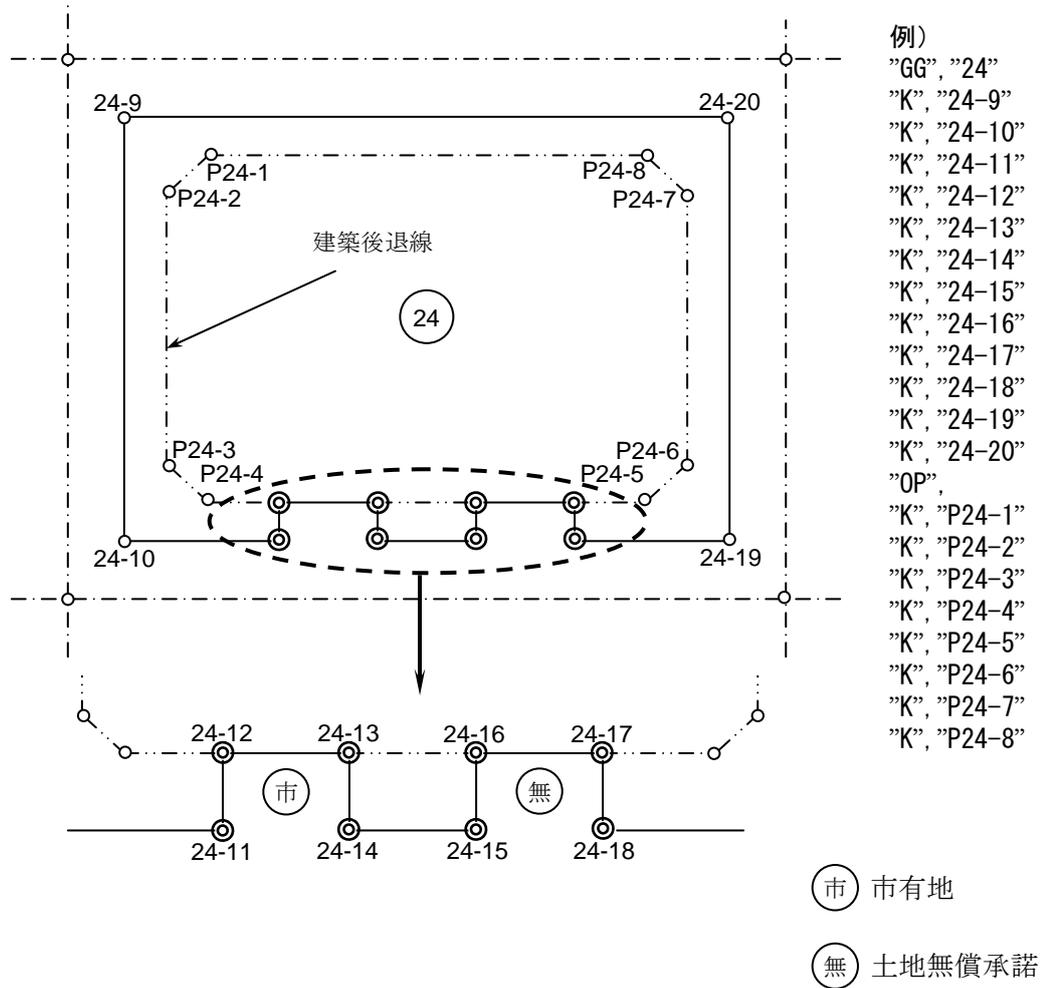


- 4 街区の中に建築後退線が存在し、かつ、官有敷（水路）に並行している場合（下図に「◎」）、建築後退線について閉合結線を作成するものとする。

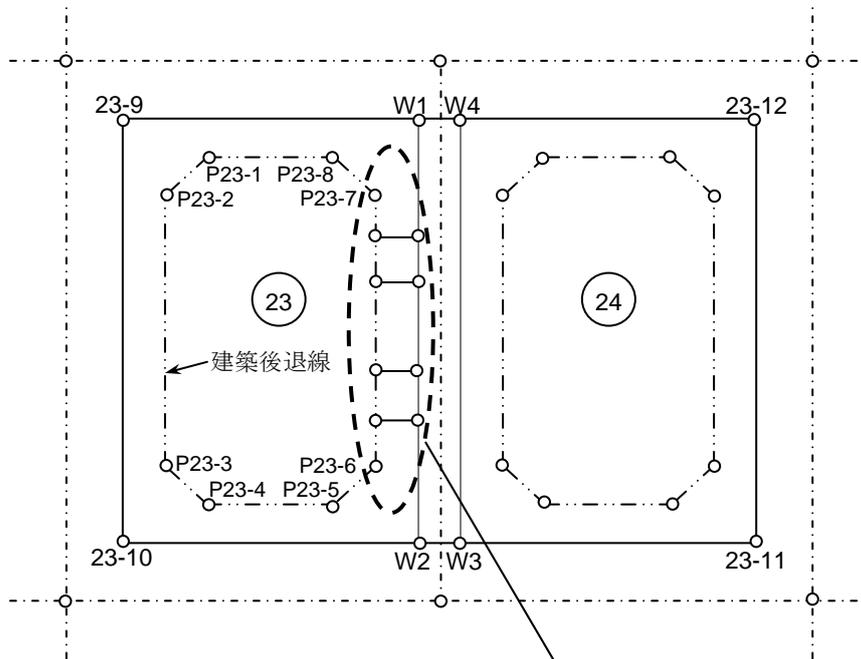


例)
 "GG", "23"
 "K", "23-9"
 "K", "23-10"
 "K", "23-11"
 "K", "23-12"
 "OW", "
 "K", "W1"
 "K", "W2"
 "OW", "
 "K", "W3"
 "K", "W4"
 "GP", "23"
 "K", "P23-1"
 "K", "P23-2"
 "K", "P23-3"
 "K", "P23-4"
 "K", "P23-5"
 "K", "P23-6"
 "K", "P23-7"
 "K", "P23-8"
 "GP", "24"
 "K", "P24-1"
 "K", "P24-2"
 "K", "P24-3"
 "K", "P24-4"
 "K", "P24-5"
 "K", "P24-6"
 "K", "P24-7"
 "K", "P24-8"

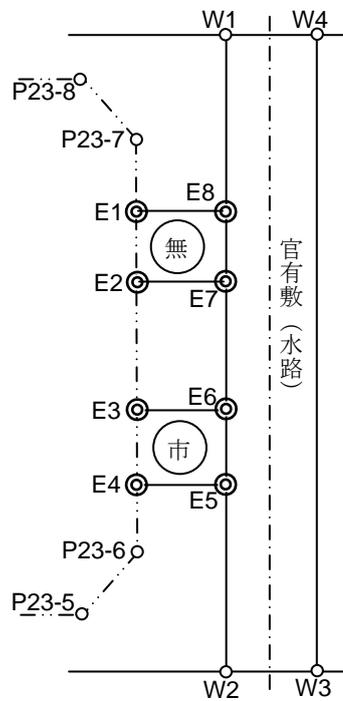
5 寄付帰属や土地無償承諾により、道路区域線の現況が下図のような場合（下図の「◎」）、これらの測点を街区点結線を含むものとする。



6 幅4 m未満の官有敷（水路）に並行して建築後退線が存在し、かつ、寄付帰属や土地無償承諾により現況が下図のような場合、第10条の規定に準じて、その他の測点結線を作成するものとする。

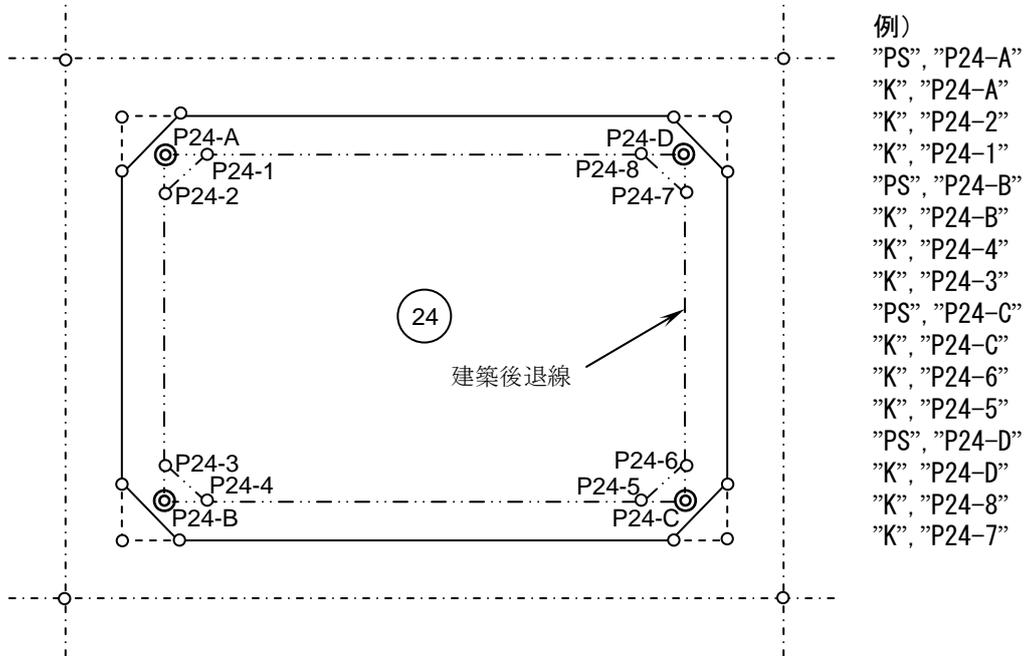


例)
 "GG", "23"
 "K", "23-9"
 "K", "23-10"
 "K", "23-11"
 "K", "23-12"
 "OW", "
 "K", "W1"
 "K", "W2"
 "OW", "
 "K", "W3"
 "K", "W4"
 "GP", "23"
 "K", "P23-1"
 "K", "P23-2"
 "K", "P23-3"
 "K", "P23-4"
 "K", "P23-5"
 "K", "P23-6"
 "K", "P23-7"
 "K", "P23-8"
 "OE", "
 "K", "E1"
 "K", "E8"
 "OE", "
 "K", "E2"
 "K", "E7"
 "OE", "
 "K", "E3"
 "K", "E6"
 "OE", "
 "K", "E4"
 "K", "E5"



(建築後退線 (すみ切り頂点) 結線グループ)

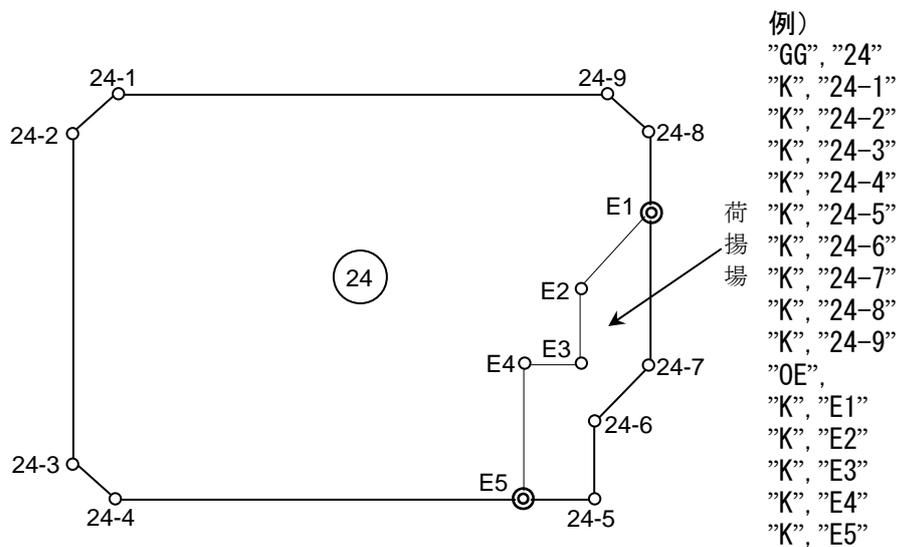
第34条 建築後退線にすみ切り頂点が存在する場合 (下図の「◎」)、すみ切り部について閉合結線を作成するものとする。「識別子」に [PS] を使用し、「グループ名」は「すみ切り頂点名」を用いるものとする。なお、閉合結線はすみ切り部単位に作成するものとする。



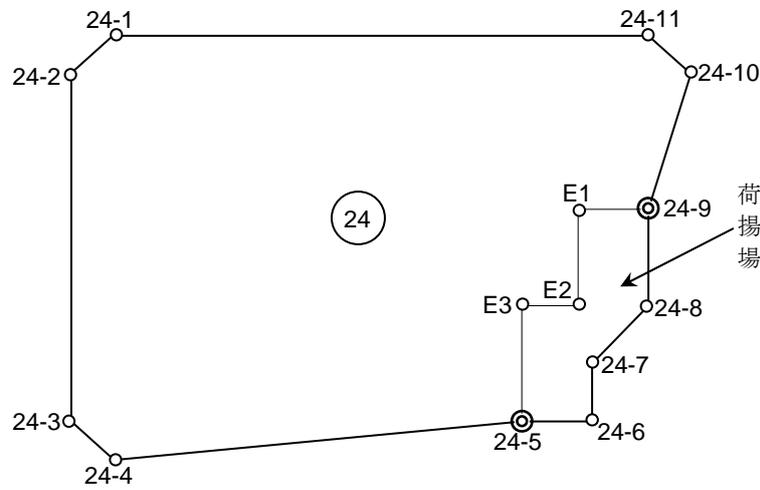
(その他の測点結線グループ)

第35条 その他の測点について、開放結線を作成するものとする。「識別子」に [OE] を使用するものとする。

2 街区の中に荷揚場があり、かつ、この測点がIP点 (折れ点) でない場合 (下図の「◎」)、これらの測点を街区線結線に含まないものとする。



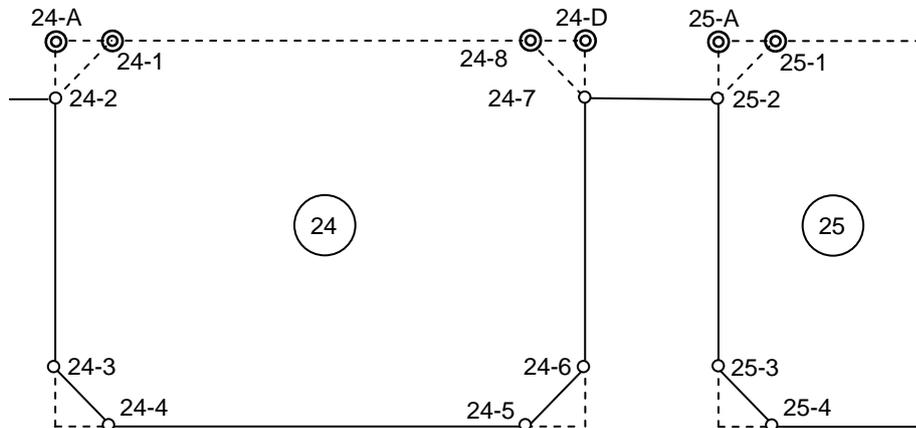
- 3 街区線上にその他の測点があり、かつ、この測点がIP点（折れ点）である場合（下図の「◎」）、これらの測点を街区線結線を含むものとする。



例)
 "GG", "24"
 "K", "24-1"
 "K", "24-2"
 "K", "24-3"
 "K", "24-4"
 "K", "24-5"
 "K", "24-6"
 "K", "24-7"
 "K", "24-8"
 "K", "24-9"
 "K", "24-10"
 "K", "24-11"
 "OE",
 "K", "24-9"
 "K", "E1"
 "K", "E2"
 "K", "E3"
 "K", "24-5"

- 4 街区の一部が道路区域外（国道等）の場合（下図の「◎」）、測点名は第10条の規定に準じた測点を符番し、開放結線を作成するものとする。「識別子」には [OE] を使用するものとする。

道路区域外（国道等）

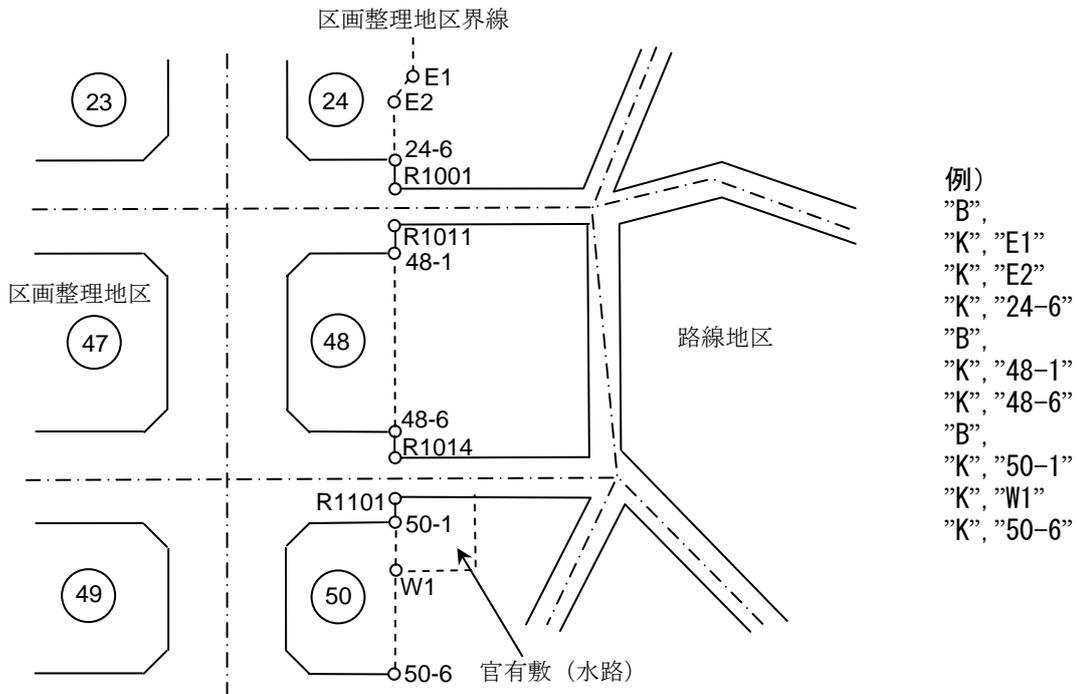


例)
 "OG", "24-2"
 "K", "24-3"
 "K", "24-4"
 "K", "24-5"
 "K", "24-6"
 "K", "24-7"
 "K", "25-2"
 "K", "25-3"
 "K", "25-4"
 "OE",
 "K", "24-2"
 "K", "24-1"
 "K", "24-8"
 "K", "24-7"
 "K", "25-1"
 "K", "25-2"
 "K", "25-3"
 "OE",
 "K", "24-1"
 "K", "24-A"
 "K", "24-2"
 "OE",
 "K", "24-7"
 "K", "24-D"
 "K", "24-8"
 "OE",
 "K", "25-1"
 "K", "25-A"
 "K", "25-2"
 "K", "25-3"
 "K", "25-4"

(区画整理地区界線結線グループ)

第36条 区画整理地区界線について、開放結線を作成するものとする。

- 2 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [B] を使用するものとする。
- 3 開放結線を作成する場合は、本章第1節の規定に準じて符番した、すべての測点が混在してもよいものとする。



第3節 データフォーマット

(座標データフォーマット)

第37条 座標データは、以下に従って作成するものとする。

- 2 コメント行以外の文字は、すべて半角かつ大文字で入力するものとする。なお、スペース、タブは使用しないものとする。
- 3 座標データは、「識別子」、「シリアルNo」、「測点名」、「X座標」、「Y座標」の各項目で構成するものとする。なお、「X座標」、「Y座標」は、測量法に基づいて規定された平面直角座標系第VI系のXY座標値である。
- 4 各項目の間は、[,] (カンマ) で区切るものとする。
- 5 「識別子」は、[Z] もしくは [D] を使用するものとし、["] (ダブルコーテーション) で囲むものとする。[Z] もしくは [D] は大文字とする。なお、[Z] を使用した測点は、「道路台帳管理システム」上で表示され、[D] を使用した測点は、同システム上では表示されない。
[D] は、原則として認定されていない道路基準点及び道路区域点などを座標データに納める際に仕様するものとする。用途として次の事項が挙げられる。
 - (1) 街区設計計算の際に座標を必要とする道路基準点 (= 計算点)。
 - (2) 確定できない測点。
 - (3) その他、監督職員が指示した測点。
- 6 「シリアルNo」は、1つの座標データの中で重複しない数字(0~9)の組み合わせとする。桁数の指定はない。
- 7 「測点名」は、本章第1節の規定に準じて符番した測点名を入力し、["] で囲むものとする。
- 8 「X座標」、「Y座標」は、小数点以下第3位(mm単位)までを入力するものとする。なお、少数点以下第4位は四捨五入するものとする。
- 9 データの1列目に[*] (アスタリスク) を入力した行は、コメント行として扱うものとする。[*] は半角入力とする。コメント行はデータとして認識されないため、注釈及び区分に利用するものとする。

- 1 0 座標データの先頭に、保全工区名、保線工区番号、データ内容、作成年度（作成年月日）、修正年月日、作成会社を入力したコメント行を作成するものとする。入力の際は、ひらがな及び漢字（シフト J I S コード）を使用するものとする。
なお、コメント行は、サンプルのように [*] で囲むものとする。
- 1 1 下記に従って座標データをグループ分けし、①～⑧の番号順に整理を行うものとする。
- ① 街区点及び道路区域点グループ : 街区点、道路区域点
 - ② すみ切り頂点グループ : すみ切り頂点、道路区域点（すみ切り頂点）
 - ③ 官有敷（水路）グループ : 官有敷（水路敷）
 - ④ 官有敷（里道）グループ : 官有敷（里道敷）
 - ⑤ 建築後退線グループ : 建築後退線、建築後退線（すみ切り頂点）
 - ⑥ その他の測点グループ : その他の測点
 - ⑦ 他工区の測点グループ : 他工区の測点
 - ⑧ 公共基準点及び道路基準点グループ : 公共基準点、道路基準点

1.2 座標データの入力例を下記に記す。

データを見やすくするためにスペースを用いて桁合わせを行う

コメント行の列幅は任意でよい

```

*****
* 保全工区名 □□□ ← 保全工区名を入力する
* 保全工区番号 ○○○○○ ← 保全工区番号を入力する
* データ内容 : 座標データ データを入力した年月日を( )内に入力する
* 作成年度 (作成年月日) : 平成20年度 ( H21. 03. 31)
* 修正年月日 : ← データの修正を行った年月日を入力する
* 作成会社 : △△△会社 ← データを作成した業者名を入力する
*****
" Z" , 0103 , " 24-1" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 0104 , " 24-2" , -149983. 138 , -42260. 261
" D" , 0105 , " 24-3" , -149990. 966 , -42178. 601
" Z" , 0060 , " R1" , -149944. 128 , -42259. 901
" Z" , 0061 , " R2" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 0203 , " R3" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 0157 , " 24-A" , -149943. 765 , -42262. 801
" Z" , 0158 , " 24-B" , -149982. 972 , -42262. 594
" Z" , 0159 , " 24-C" , -149941. 283 , -42265. 553
" Z" , 0060 , " R10-S" , -149944. 128 , -42259. 901
" Z" , 0061 , " R12-S" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 0203 , " R24-S" , -149980. 972 , -42262. 605
* W1からW3は街区番号24に含まれる
" Z" , 0201 , " W1" , -149944. 128 , -42259. 907
" Z" , 0202 , " W2" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 0203 , " W3" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 0344 , " L1" , -149944. 128 , -42259. 907
" Z" , 0345 , " L2" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 0346 , " L3" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 0721 , " P24-1" , -149944. 128 , -42259. 907
" Z" , 0722 , " P24-2" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 0723 , " P24-3" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 0721 , " P48-A" , -149944. 128 , -42259. 907
" Z" , 0722 , " P48-B" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 0723 , " P48-C" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 1001 , " E1" , -149944. 128 , -42259. 907
" Z" , 1002 , " E2" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 1003 , " E3" , -149980. 972 , -42262. 605
" Z" , 1001 , " A-C12" , -149944. 128 , -42259. 907
" Z" , 1002 , " A-C15" , -149946. 682 , -42262. 786
" Z" , 1004 , " B-48-1" , -149983. 138 , -42260. 261
" Z" , 0001 , " 30100001" , -149940. 555 , -42266. 480
" Z" , 0002 , " 30100002" , -149941. 359 , -42265. 814
" Z" , 0003 , " 30100003" , -149942. 123 , -42286. 258
" Z" , 0004 , " 30100004" , -149943. 246 , -42272. 480
" Z" , 0045 , " 40100001" , -149944. 369 , -42259. 147
" Z" , 0046 , " 40100002" , -149945. 690 , -42231. 654

```

コメント行は8行とする

「シリアルNo」は重複しない数字の組み合わせとする。
例)は4桁であるが、桁数は任意で良い。

① 街区点及び道路区域点グループ

「道路台帳管理システム」の画面上で表示しない測点については「識別子」を[D]とする。

② すみ切り頂点グループ

コメント行を挿入する場合、1列目に[*]を入力する。

③ 官有敷(水路)グループ

④ 官有敷(里道)グループ

⑤ 建築後退線グループ

⑥ その他の測点グループ

⑦ 他工区の測点グループ

⑧ 公共基準点及び道路基準点グループ

識別子 シリアルNo 測点名 X座標 Y座標 (留意点)

1. "識別子", シリアルNo, "測点名", X座標, Y座標の形式で入力する。
2. 入力は、左詰めとする。

(結線データフォーマット)

第38条 結線データは、以下に従って作成するものとする。

- 2 コメント行以外の文字は、すべて半角かつ大文字で入力するものとする。なお、スペース、タブは使用しないものとする。
- 3 結線データは、「識別子」、「グループ名」、「測点名」の各項目で構成するものとする。
- 4 各項目の間は、[,] で区切るものとする。
- 5 「識別子」には、アルファベット大文字の [GC] [GG] [GS] [GP] [PS] [OC] [OG] [OR] [OS] [OW] [OL] [OP] [OE] [B] [K] を使用し、[”] で囲むものとする。なお、各々「識別子」の意味は、第22条の規定を参照するものとする。
- 6 データの1列目に [*] (アスタリスク) を入力した行は、コメント行として扱うものとする。[*] は半角入力とする。コメント行はデータとして認識されないため、注釈及び区分に利用するものとする。
- 7 結線データの先頭に、保全工区名、保全工区番号、データ内容、作成年度(作成年月日)、修正年月日、作成会社を入力したコメント行を作成するものとする。入力の際は、ひらがな及び漢字(シフトJISコード)を使用するものとする。なお、コメント行は、サンプルのように [*] で囲むものとする。
- 8 下記に従って結線データをグループ分けし、①～⑪の番号順に整理を行うものとする。
 - ① 公共基準点及び道路基準点結線グループ : 「識別子」が [GC] [OC] である。
 - ② 街区点結線グループ : 「識別子」が [GG] [OG] である。
 - ③ 道路区域点結線グループ : 「識別子」が [OR] である。
 - ④ すみ切り頂点結線グループ : 「識別子」が [GS] である。
 - ⑤ 道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ : 「識別子」が [OS] である。
 - ⑥ 官有敷(水路)結線グループ : 「識別子」が [OW] である。
 - ⑦ 官有敷(里道)結線グループ : 「識別子」が [OL] である。
 - ⑧ 建築後退線結線グループ : 「識別子」が [GP] [OP] である。
 - ⑨ 建築後退線(すみ切り頂点)結線グループ : 「識別子」が [PS] である。
 - ⑩ その他の測点結線グループ : 「識別子」が [OE] である。
 - ⑪ 区画整理地区界線結線グループ : 「識別子」が [B] である。

9 結線データの入力例を下記に記す。

データを見やすくするためにスペースを用いて桁合わせを行う

コメント行の列幅は任意でよい

```

*****
* 保全工区名      : □□□ ← 保全工区名を入力する
* 保全工区番号    : ○○○○○ ← 保全工区番号を入力する
* データ内容      : 結線データ データを入力した年月日を( )内に入力する
* 作成年度(作成年月日) : 平成20年度 ( H21.03.31) ←
* 修正年月日      :          ← データの修正を行った年月日を入力する
* 作成会社        : △△△会社 ← データを作成した業者名を入力する
*****
" GC" " C24"
" K" " 30100001"
" K" " 40100001"
" K" " 40100002"
" K" " 30100002"
" OC" " "
" K" " 40100001"
" K" " 50100001"
" GG" " 24"
" K" " 24-1"
" K" " 24-2"
" K" " 24-3"
" OG" " "
" K" " 24-1"
" K" " 24-2"
" K" " 24-3"
" OR" " "
" K" " R1"
" K" " R2"
" K" " R3"
" GS" " 24-A"
" K" " 24-A"
" K" " 24-2"
" K" " 24-1"
" OS" " "
" K" " R5-S"
" K" " R6"
" K" " R5"
" K" " R5-S"
* W1からW3は街区番号24に含まれる。
" OW" " "
" K" " W1"
" K" " W2"
" K" " W3"
" OL" " "
" K" " L1"
" K" " L2"
" K" " L3"
" OP" " "
" K" " P24-1"
" K" " P24-2"
" K" " P24-3"
" PS" " "
" K" " P24-A"
" K" " P24-B"
" K" " P24-C"
" OE" " "
" K" " E1"
" K" " E2"
" B" " "
" K" " C-4"
" K" " 30-8"
" K" " C12"

```

コメント行は8行とする

① 公共基準点及び道路基準点結線グループ
(留意点)
1. "識別子", "グループ名" もしくは "識別子", "測点名" の形式で入力する。
2. 入力は、左詰めとする。

② 街区点結線グループ

③ 道路区域点結線グループ

④ すみ切り頂点結線グループ

⑤ 道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ

⑥ 官有敷(水路)結線グループ

⑦ 官有敷(里道)結線グループ

⑧ 建築後退線結線グループ

⑨ 建築後退線(すみ切り頂点)結線グループ

⑩ その他の測点結線グループ

⑨ 区画整理地区界結線グループ

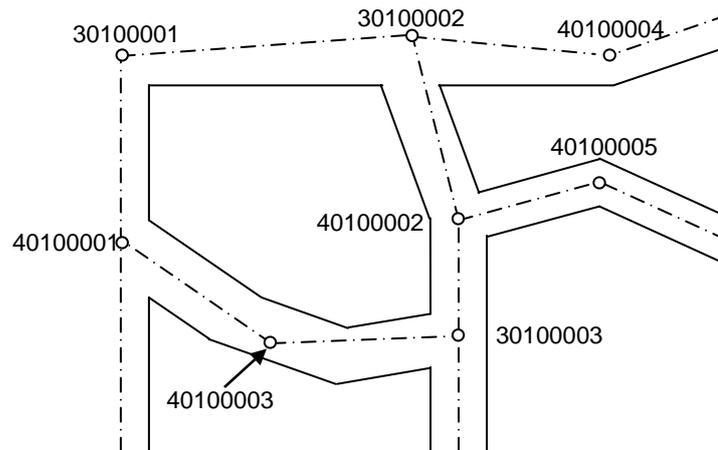
識別子 測点名

第3章 路線地区調査測量データ作成仕様

第1節 座標データ測点名の作成

(公共基準点及び道路基準点測点名)

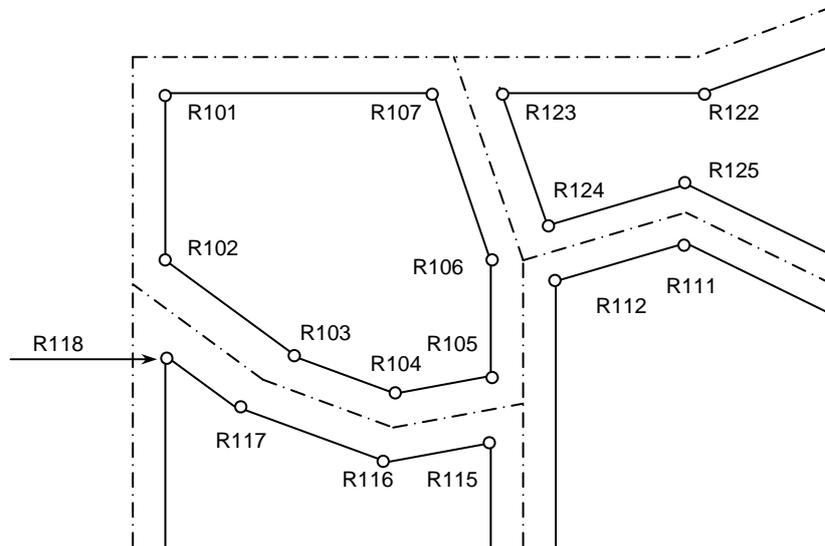
第39条 公共基準点及び道路基準点測点名は [等級] + [区番] + [点番] とする。なお、測点名に使用する文字は、数字 (0~9) のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。



- 2 [等級] は3~5級基準点を示す。使用できる文字数は1文字で数字の3、4、5のみ使用可とする。
- 3 [区番] の文字数は2文字で数字 (0~9) のみ使用可とする。
- 4 [点番] の文字数は5文字で数字 (0~9) のみ使用可とする。ゼロ埋めとする。
- 5 測点名は重複しない。
- 6 測点の文字数は全体で8文字とする。

(道路区域点測点名)

第40条 道路区域点の測点名は、[R] + [連番] とする。なお、[連番] に使用する文字は、数字 (0~9) のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

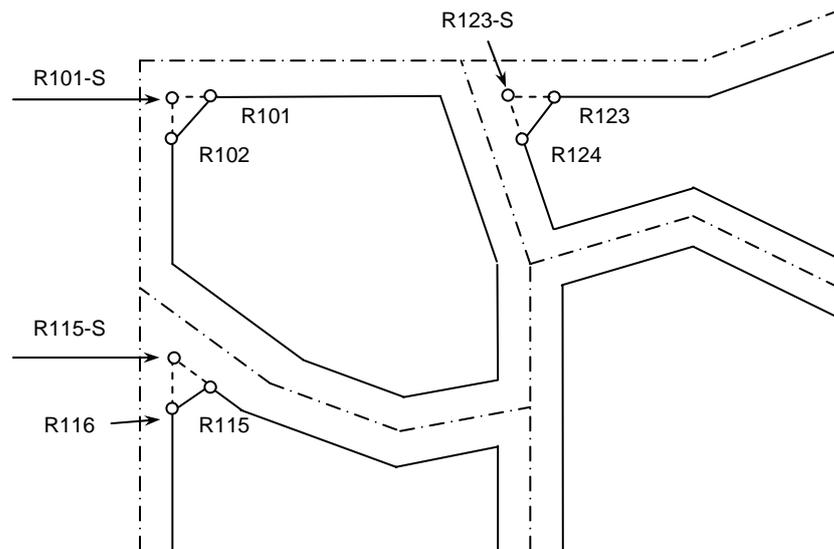


- 2 [R] と [連番] の間に [-] は入れないものとする。従って、「R-101」等は不可とする。
- 3 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。
- 4 測点名の文字数は、6文字以内とする。

(道路区域点 (すみ切り頂点) 測点名)

第41条 道路区域点 (すみ切り頂点) の測点名は、[R] + [連番] + [-] + [S]
とする。なお、[連番] に使用する文字は、数字 (0~9) のみとし、漢字、英字、
記号は使用しないものとする。

- 2 道路区域点 (すみ切り頂点) 測点名には、すみ切り部を形成する道路区域点のうち、
数字の若い測点名を用いるものとする。



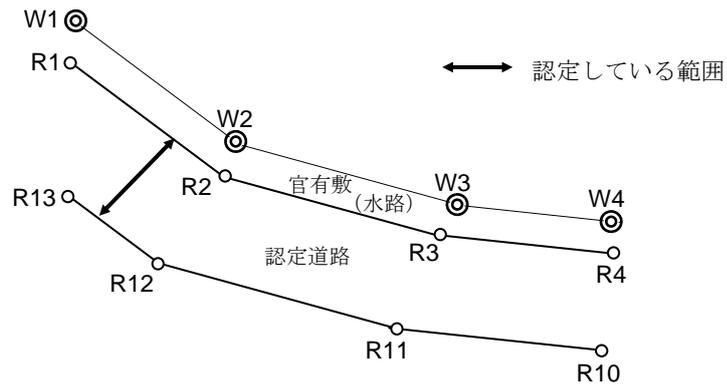
- 3 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

- 4 測点名の文字数は、6文字以内とする。

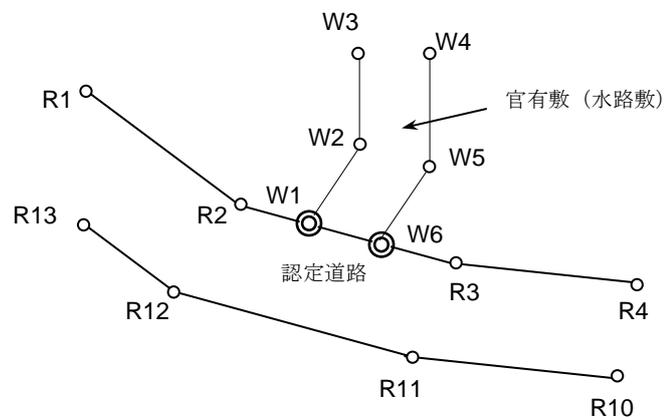
(官有敷(水路)測点名)

第42条 官有敷(水路)がある場合、測点名は[W]+[連番]とする。なお、[連番]に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

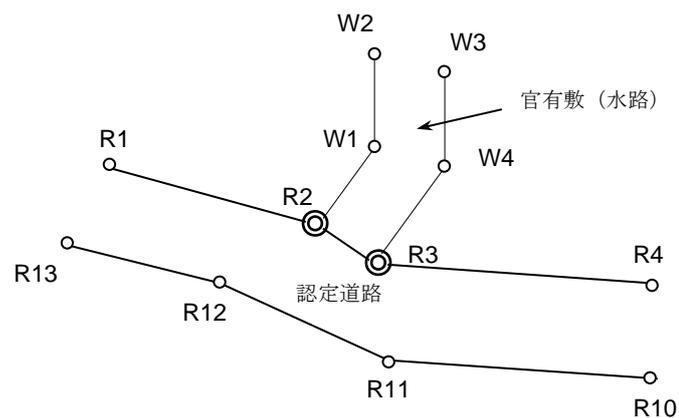
2 官有敷(水路)が認定道路に並行している場合(下図の「◎」)、測点名は[W]+[連番]と符番するものとする。



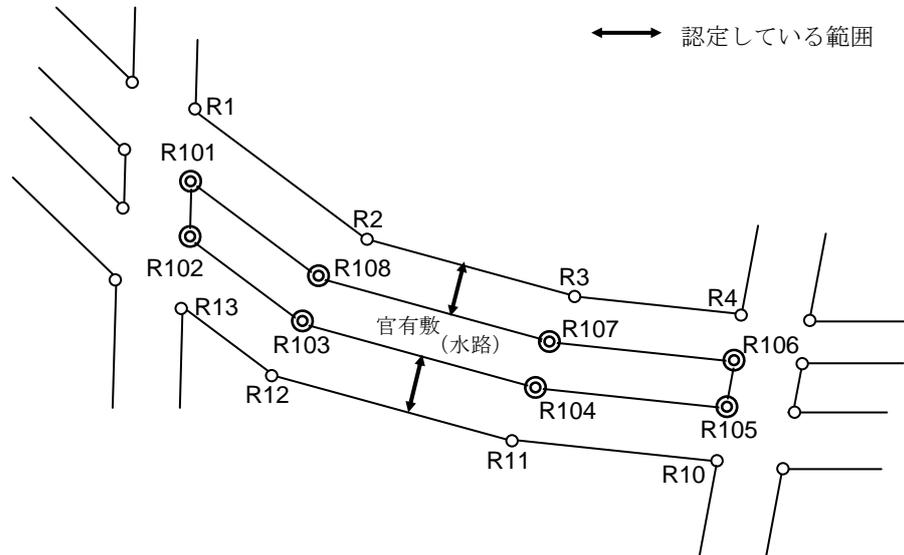
3 道路区域線と官有敷(水路敷)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)でない場合



4 道路区域線と官有敷(水路)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)である場合



- 5 官有敷（水路）が、認定道路に挟まれている場合（下図の「◎」）、測点名は [R] + [連番] と符番するものとする。



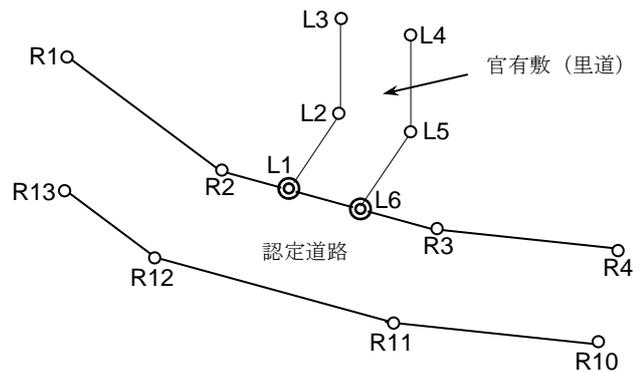
- 6 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

- 7 測点名の文字数は、6文字以内とする。

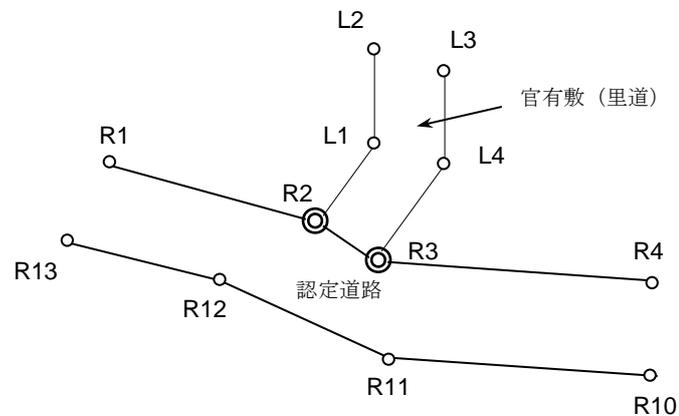
(官有敷(里道)測点名)

第43条 官有敷(里道)がある場合、測点名は[L]+[連番]とする。なお、[連番]に使用する文字は、数字(0~9)のみとし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

2 道路区域線と官有敷(里道)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)でない場合



3 道路区域線と官有敷(里道)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)である場合

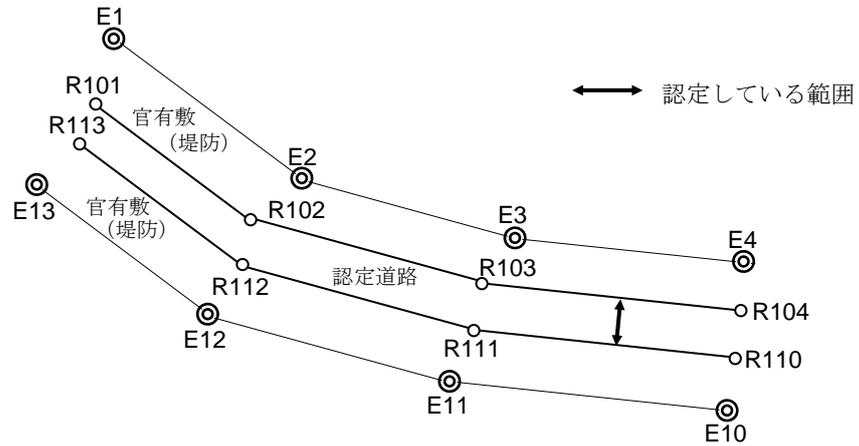


4 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。

5 測点名の文字数は、6文字以内とする。

(その他の測点名)

第44条 堤防等の官有敷が、認定道路に並行している場合（下図の「◎」）、測点名は、
[E] + [連番] とする。なお、[連番] に使用する文字は、数字（0～9）のみ
とし、漢字、英字、記号は使用しないものとする。

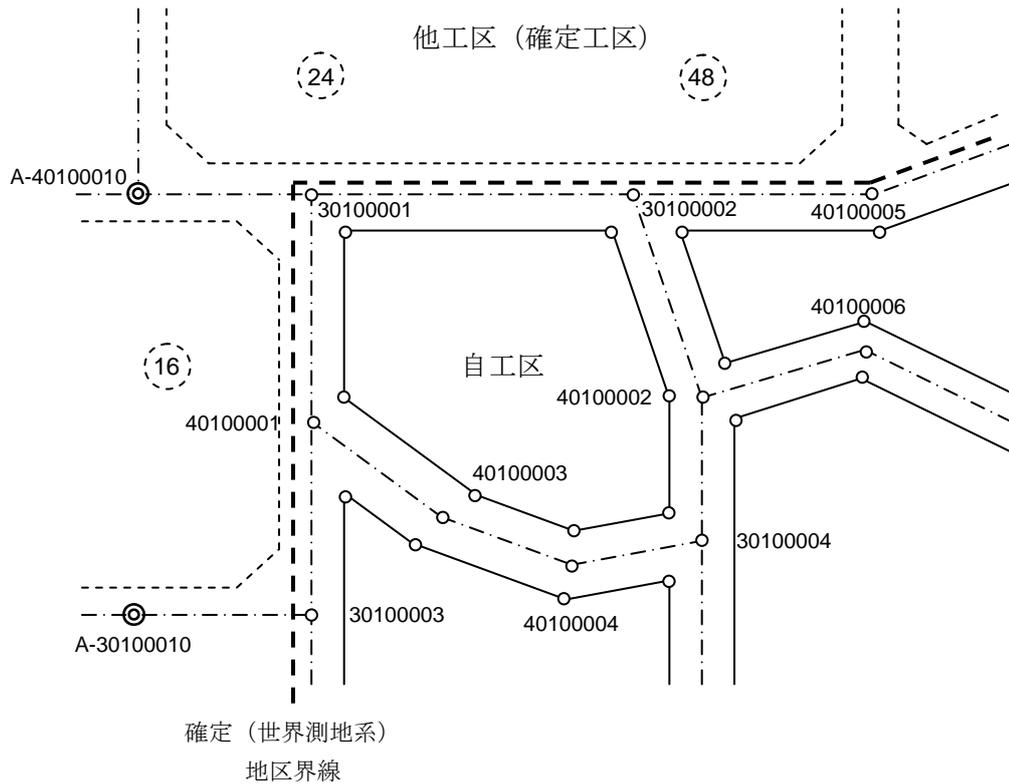


- 2 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。
- 3 測点名の文字数は、6文字以内とする。

(他工区 (確定工区) の測点名)

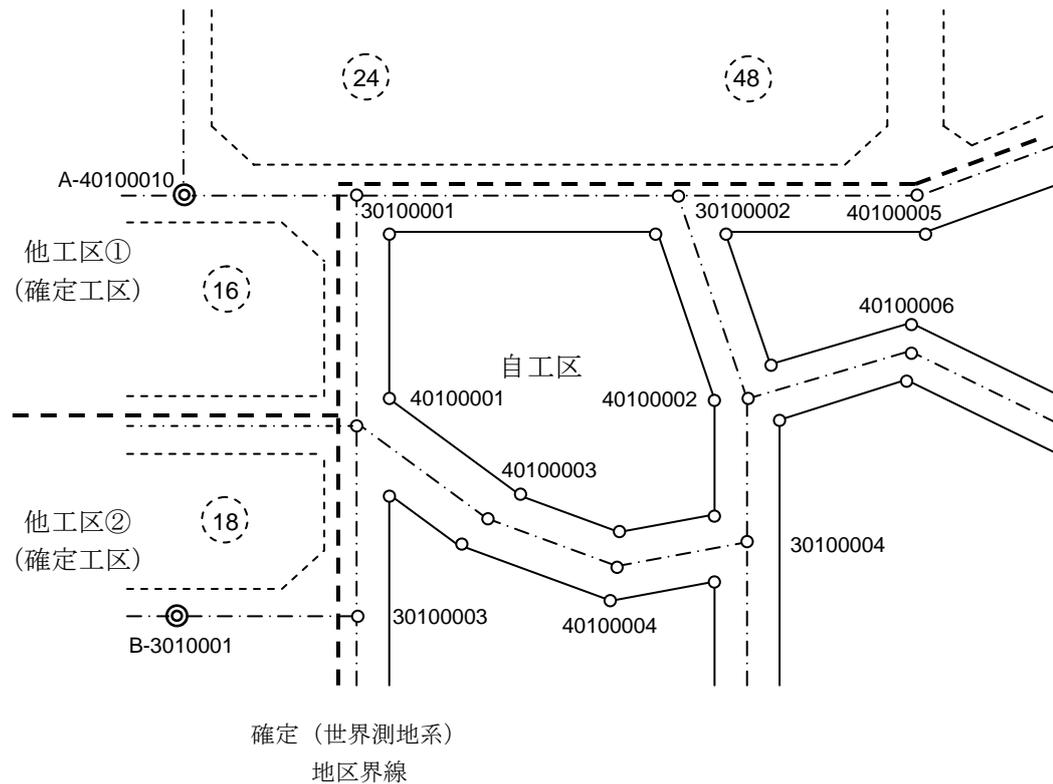
第45条 保全工区番号が異なる他工区の測点を、自工区の成果ディスクに納める場合、他工区の測点名の先頭に [英字] + 「-」を付加するものとする。[英字] はアルファベット1文字で、大文字を使用するものとする。従って、「AB-30100010」「a-30100010」等は不可とする。

例) 自工区の成果ディスクに、他工区 (確定工区) の測点 (下図の「◎」) を納める場合。



- 2 保全工区番号が異なる他工区が複数存在する場合は、各保全工区毎に、付加する〔英字〕を変えるものとする。

例) 自工区の成果ディスクに、他工区①(確定工区)と他工区②(確定工区)の測点を納める場合は、他工区①の測点名の先頭に〔A〕+〔-〕、他工区②の測点名の先頭に〔B〕+〔-〕を付けるものとする。

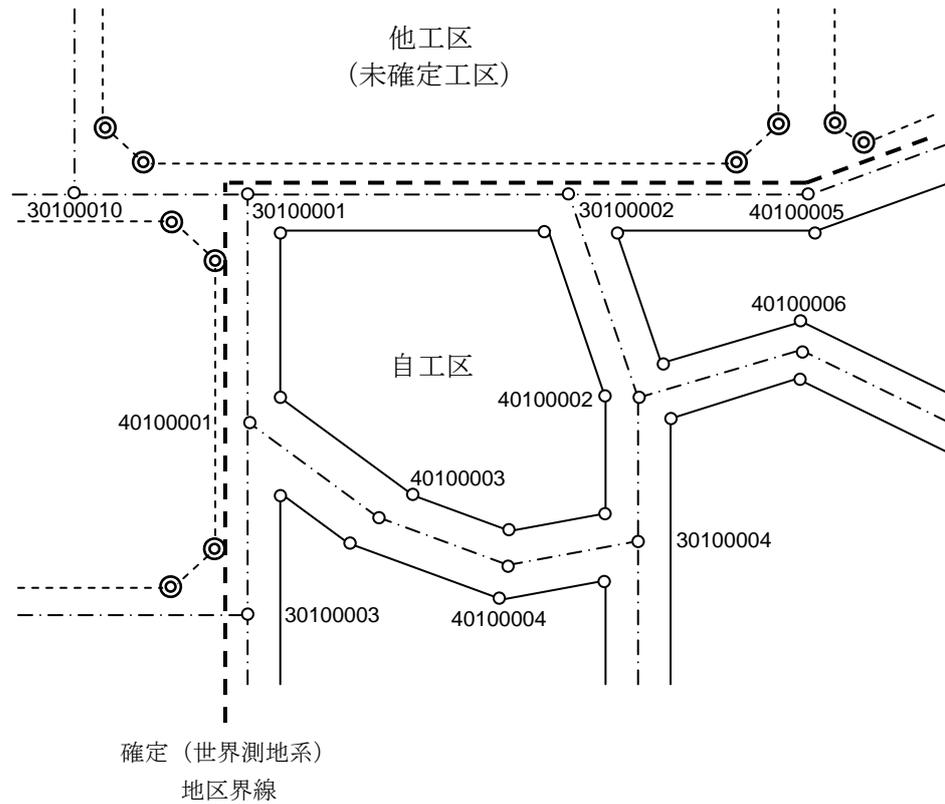


- 3 〔英字〕が示す工区名称及び保全工区番号を、所定の用紙に明記するものとする(付録. 1 参照)。
- 4 〔英字〕に「C」「E」「L」「P」「R」「W」を使用しないものとする。従って、「C-30100010」「E-30100010」等は不可とする。
- 5 測点名は、自工区内で重複しないように符番するものとする。
- 6 測点名の文字数は、8文字以内とする。

(他工区 (未確定工区) の測点名)

第46条 他工区 (未確定工区) に位置する測点 (下図の「◎」) については、自工区の成果ディスクに納めないものとする。

例) 「◎」は、自工区の成果ディスクに納めないものとする。



第2節 結線データの作成

(結線データの構成)

第47条 結線データは、「識別子」、「測点名」の各項目で構成するものとする。

2 各項目の間は、[,] (カンマ) で区切るものとする。

例)

” OC”	→	” 「識別子」 ”
” K” , ” 30100001”		” 「 ” ” , ” 「 測点名 」 ”
” K” , ” 40100001”		” 「 ” ” , ” 「 ” ” ”
” K” , ” 40100002”		” 「 ” ” , ” 「 ” ” ”
” K” , ” 30100002”		” 「 ” ” , ” 「 ” ” ”
:		

(識別子)

第48条 「識別子」には、アルファベット大文字の [OC] [OR] [OS] [OW] [OL] [OE] [B] [K] を使用する。なお、「識別子」は [”] (ダブルコーテーション) で囲むものとする。

2 [OC] [OR] [OS] [OW] [OL] [OE] [B] [K] は以下の意味を持つものとする。

(1) 識別子の頭に「0」が付くものは開放結線を意味する。

[OC] : 公共基準点及び道路基準点の開放結線
[OR] : 道路区域点の開放結線
[OS] : 道路区域点 (すみ切り頂点) の開放結線
[OW] : 官有敷 (水路) の開放結線
[OL] : 官有敷 (里道) の開放結線
[OE] : その他の測点の開放結線
[B] : 区画整理地区界線の開放結線

(2) [K] は、開放結線を構成する測点を表すものである。

(測点名)

第49条 「測点名」は、本章第1節の規定に準じて符番された公共基準点、道路基準点、道路区域点、すみ切り頂点、道路区域点 (すみ切り頂点)、官有敷 (水路)、官有敷 (里道)、その他の測点、他工区の測点の測点名を用いるものとする。

(結線グループ)

第50条 結線グループは、下記のグループに分けるものとする。

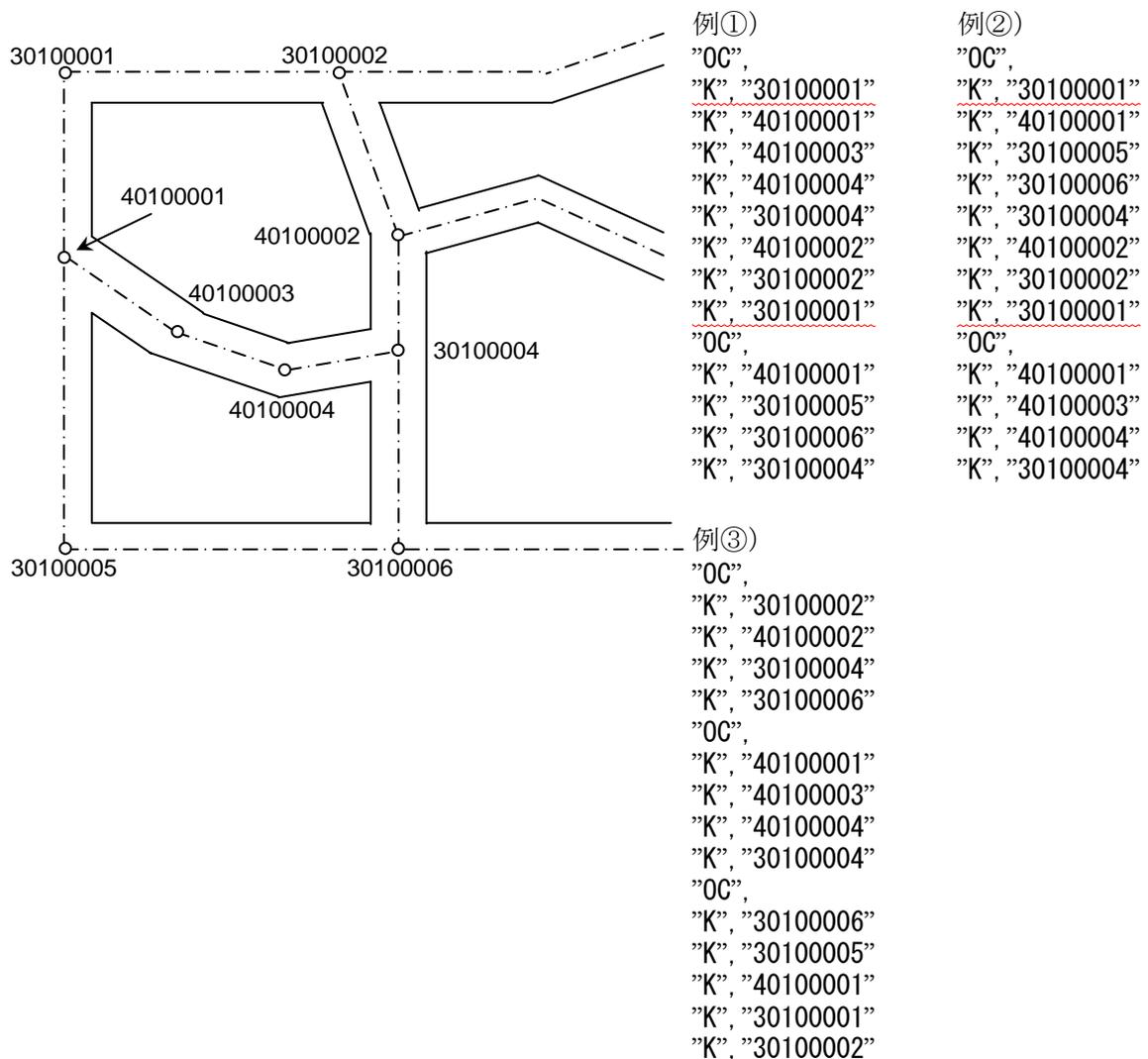
- ① 公共基準点及び道路基準点結線グループ : 「識別子」が [OC] である。
- ② 道路区域点結線グループ : 「識別子」が [OR] である。
- ③ 道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ : 「識別子」が [OS] である。
- ④ 官有敷(水路)結線グループ : 「識別子」が [OW] である。
- ⑤ 官有敷(里道)結線グループ : 「識別子」が [OL] である。
- ⑥ その他の測点結線グループ : 「識別子」が [OE] である。
- ⑦ 区画整理地区界線結線グループ : 「識別子」が [B] である。

(公共基準点及び道路基準点結線グループ)

第51条 公共基準点及び道路基準点について、開放結線を作成するものとする。

- 2 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [0C] を使用するものとする。
- 3 結線の欠如がない限り、開放結線を行う範囲や、結線の結び方は自由とする。但し、整理の都合上、閉合した道路区域線単位で、左回りに開放結線を作成することが望ましい。

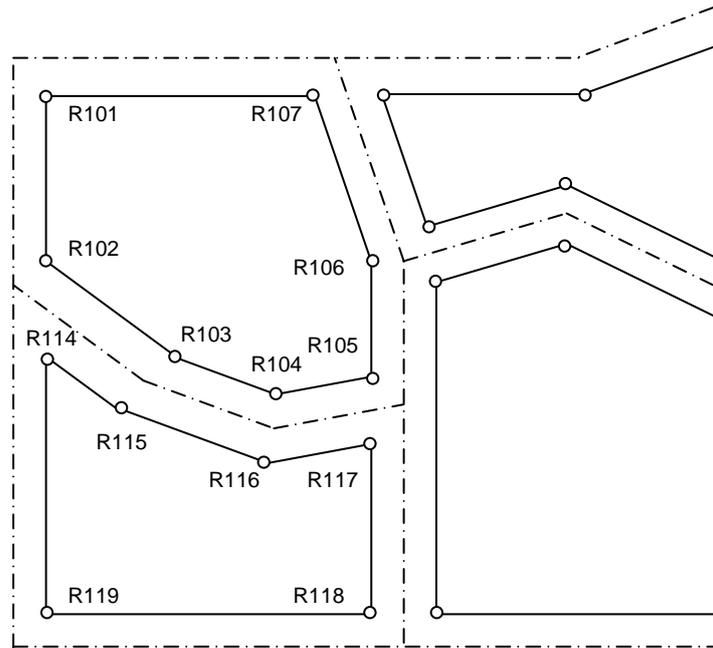
例) 開放結線を作成する場合は、下記の例①～③のうち、いずれの結び方でもよいものとする。なお、[0C] を用いて閉合の形状の結線を作成する場合は、起点と終点を重複して入力する。



(道路区域点結線グループ)

第52条 道路区域点について、開放結線を作成するものとする。

- 2 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [OR] を使用するものとする。
- 3 開放結線は、閉合した道路区域線単位で作成するものとする。なお、[OR] を用いて閉合の形状の結線を作成する場合は、起点と終点を重複して入力する。

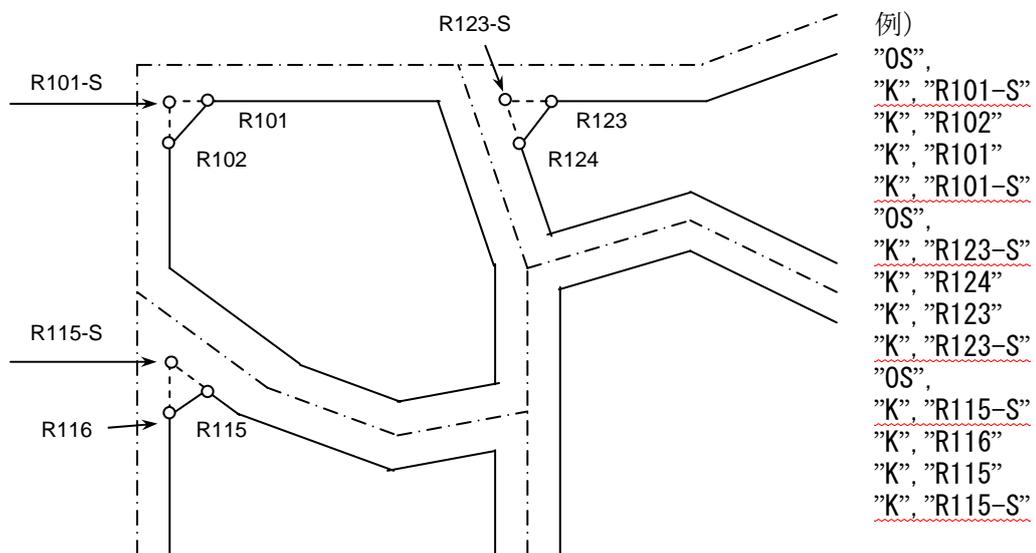


例)
"OR",
"K", "R101"
"K", "R102"
"K", "R103"
"K", "R104"
"K", "R105"
"K", "R106"
"K", "R107"
"K", "R101"
"OR",
"K", "R114"
"K", "R119"
"K", "R118"
"K", "R117"
"K", "R116"
"K", "R115"
"K", "R114"

(道路区域点 (すみ切り頂点) 結線グループ)

第53条 道路区域点 (すみ切り頂点) について、開放結線を作成するものとする。

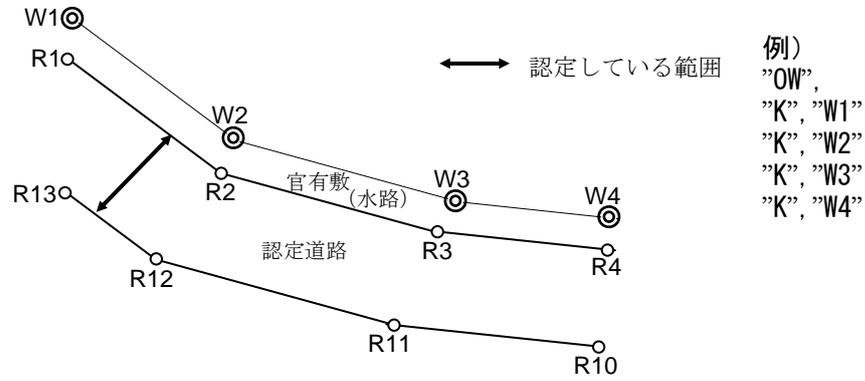
- 2 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [OS] を使用するものとする。
- 3 道路区域点 (すみ切り頂点) 測点名が符番されているすみ切り部については、[OS] を用いて開放結線を作成する。なお、[OS] を用いて閉合形状の結線を作成する場合は、起点と終点を重複して入力するものとする。



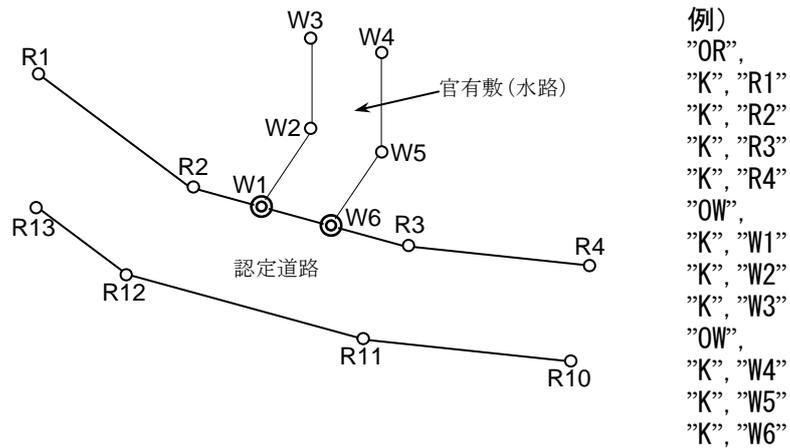
(官有敷(水路)結線グループ)

第54条 官有敷(水路)について、開放結線を作成するものとする。

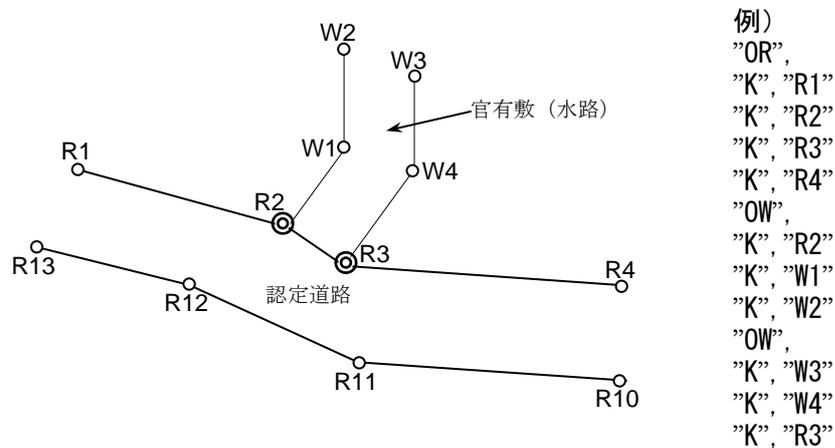
2 官有敷(水路)が、認定道路に並行している場合(下図の「◎」)、「識別子」に[OW]を使用するものとする。



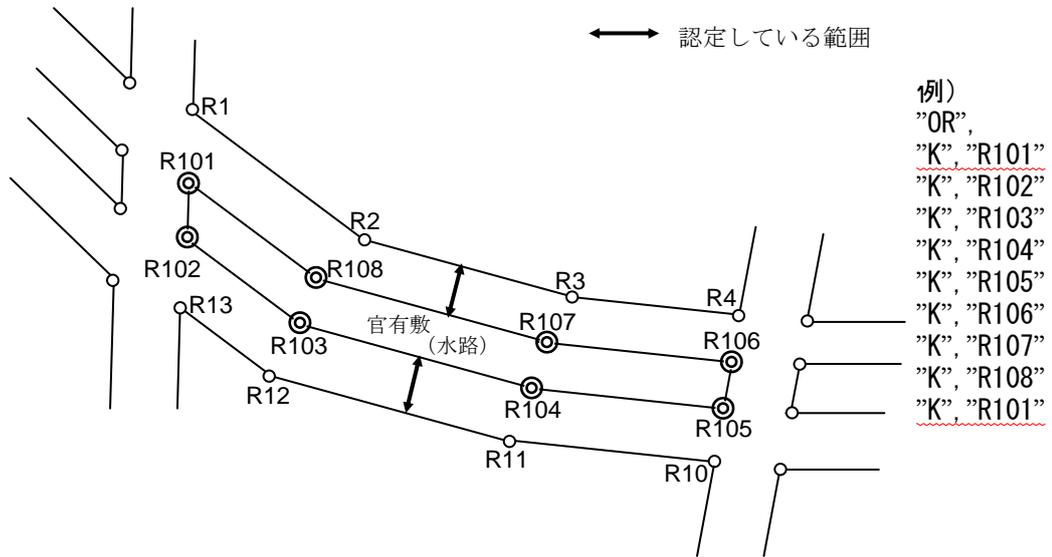
3 道路区域線と官有敷(水路)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)でない場合



4 道路区域線と官有敷(水路)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)である場合



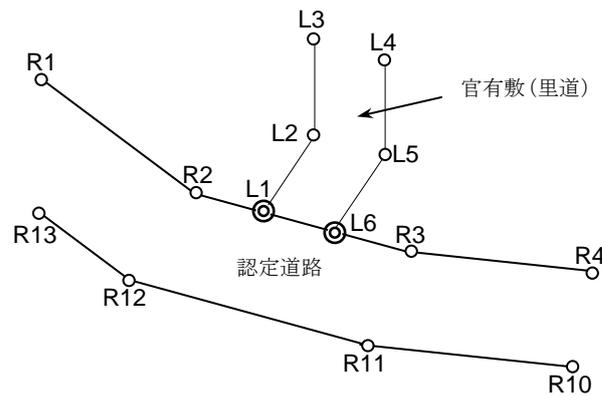
- 5 官有敷（水路）が、認定道路内に存在する場合（下図の「◎」）、「識別子」に [OR] を使用するものとする。なお、[OR] を用いて閉合形状の結線を作成する場合は、起点と終点を重複して入力するものとする。



(官有敷(里道)結線グループ)

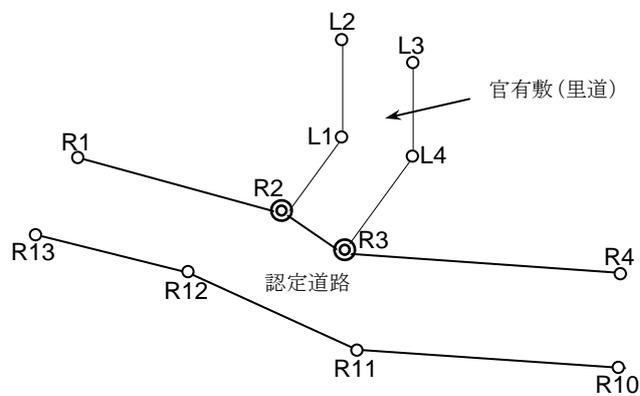
第55条 官有敷(里道)について、開放結線を作成するものとする。「識別子」に「OL」を使用するものとする。

2 道路区域線と官有敷(里道)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)でない場合



例)
"OR",
"K", "R1"
"K", "R2"
"K", "R3"
"K", "R4"
"OL",
"K", "L1"
"K", "L2"
"K", "L3"
"OL",
"K", "L4"
"K", "L5"
"K", "L6"

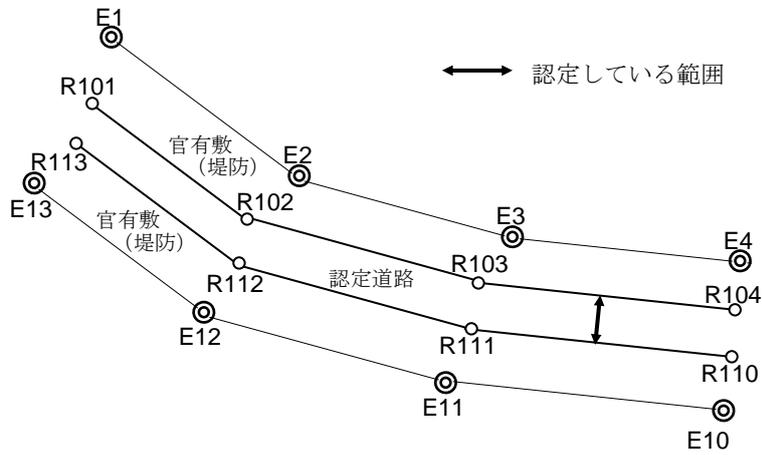
3 道路区域線と官有敷(里道)が交差し、これらの測点がIP点(折れ点)である場合



例)
"OR",
"K", "R1"
"K", "R2"
"K", "R3"
"K", "R4"
"OL",
"K", "R2"
"K", "L1"
"K", "L2"
"OL",
"K", "L3"
"K", "L4"
"K", "R3"

(その他の測点結線グループ)

第56条 堤防等の官有敷が、認定道路に並行している場合（下図の「◎」）、「識別子」に [OE] を使用するものとする。

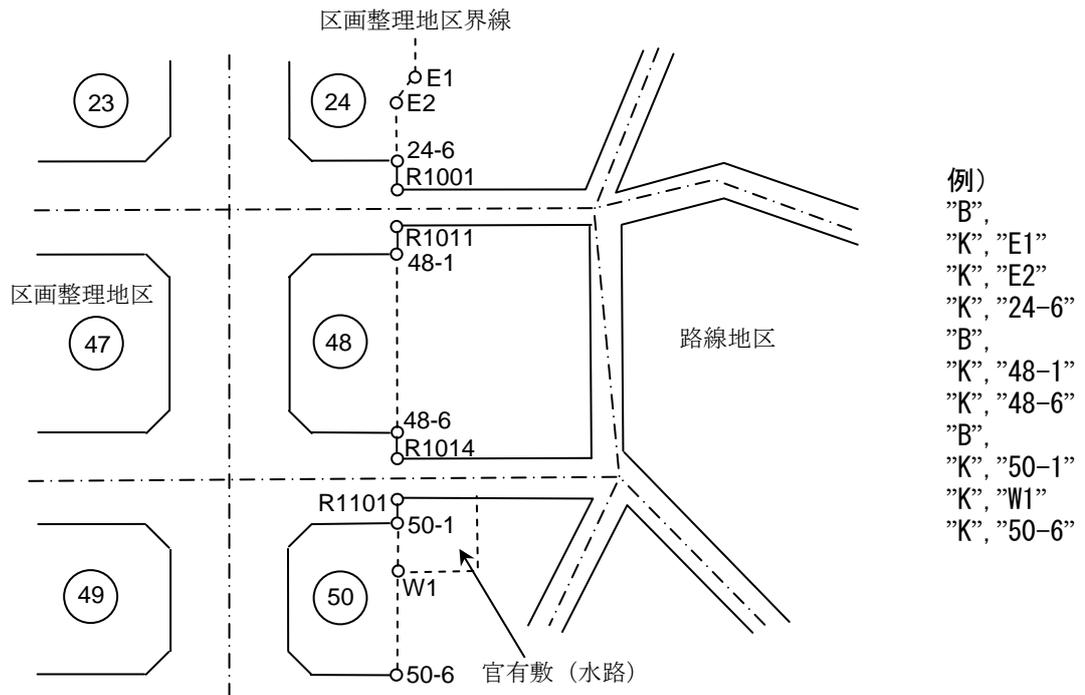


例)
"OE",
"K", "E1"
"K", "E2"
"K", "E3"
"K", "E4"
"OE",
"K", "E13"
"K", "E12"
"K", "E11"
"K", "E10"

(区画整理地区界線結線グループ)

第57条 区画整理地区界線について、開放結線を作成するものとする。

- 2 開放結線を作成する場合は、「識別子」に [B] を使用するものとする。
- 3 開放結線を作成する場合は、本章第1節の規定に準じて符番した、すべての測点が混在してもよいものとする。



第3節 データフォーマット

(座標データフォーマット)

第58条 座標データフォーマットは、以下に従って作成するものとする。

- 2 コメント行以外の文字は、すべて半角かつ大文字で入力するものとする。なお、スペース、タブは使用しないものとする。
- 3 座標データは、「識別子」、「シリアルNo」、「測点名」、「X座標」、「Y座標」の各項目で構成するものとする。なお、「X座標」、「Y座標」は、測量法に基づいて規定された平面直角座標系第VI系のXY座標値である。
- 4 各項目の間は、[,] (カンマ) で区切るものとする。
- 5 「識別子」は、[Z] もしくは [D] を使用するものとし、["] (ダブルコーテーション) で囲むものとする。[Z] もしくは [D] は大文字とする。なお、[Z] を使用した測点は、「道路台帳管理システム」上で表示され、[D] を使用した測点は、同システム上では表示されない。
[D] は、原則として認定されていない道路基準点及び道路区域点などを座標データに納める際に仕様するものとする。用途として次の事項が挙げられる。
 - (1) 街区設計計算の際に座標を必要とする道路基準点 (= 計算点)。
 - (2) 確定できない測点。
 - (3) その他、監督職員が指示した測点。
- 6 「シリアルNo」は、1つの座標データの中で重複しない数字(0~9)の組み合わせとする。桁数の指定はない。
- 7 「測点名」は、本章第1節の規定に準じて符番した測点名を入力し、["] で囲むものとする。
- 8 「X座標」、「Y座標」は、小数点以下第3位(mm単位)までを入力するものとする。なお、少数点以下第4位は四捨五入するものとする。
- 9 データの1列目に[*] (アスタリスク) を入力した行は、コメント行として扱うものとする。[*] は半角入力とする。コメント行はデータとして認識されないため、注釈及び区分に利用するものとする。

1 0 座標データの先頭に、保全工区名、保全工区番号、データ内容、作成年度（作成年月日）、修正年月日、作成会社を入力したコメント行を作成するものとする。入力の際は、ひらがな及び漢字（シフト J I S コード）を使用するものとする。
なお、コメント行は、サンプルのように [*] で囲むものとする。

1 1 下記に従って座標データをグループ分けし、①～⑦の番号順に整理を行うものとする。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 道路区域点グループ | : 道路区域点 |
| ② すみ切り頂点グループ | : 道路区域点（すみ切り頂点） |
| ③ 官有敷（水路）グループ | : 官有敷（水路） |
| ④ 官有敷（里道）グループ | : 官有敷（里道） |
| ⑤ その他の測点グループ | : その他の測点 |
| ⑥ 他工区の測点グループ | : 他工区の測点 |
| ⑦ 公共基準点及び道路基準点グループ | : 公共基準点、道路基準点 |

1 2 座標データの入力例を下記に記す。

データを見やすくするためにスペースを用いて桁合わせを行う

コメント行の列幅は任意でよい

```

*****
* 保全工区名      : □□□      ← 保全工区名を入力する
* 保全工区番号    : ○○○○○   ← 保全工区番号を入力する
* データ内容      : 座標データ  ← データを入力した年月日を( )内に入力する
* 作成年度(作成年月日) : 平成20年度 ( H21.03.31)
* 修正年月日      :           ← データの修正を行った年月日を入力する
* 作成会社        : △△△会社 ← データを作成した業者名を入力する
*****
" Z" ,0103," R1" ,-149980.972,-42262.605
" Z" ,0104," R2" ,-149983.138,-42260.261
" D" ,0105," R3" ,-149990.966,-42178.601
" Z" ,0060," R4" ,-149944.128,-42259.901
" Z" ,0061," R5" ,-149946.682,-42262.786
" Z" ,0203," R6" ,-149980.972,-42262.605
" Z" ,0060," R10-S" ,-149944.128,-42259.901
" Z" ,0061," R12-S" ,-149946.682,-42262.786
" Z" ,0203," R24-S" ,-149980.972,-42262.605
* W1からW3は○○町△△番に位置する
" Z" ,0201," W1" ,-149944.128,-42259.907
" Z" ,0202," W2" ,-149946.682,-42262.786
" Z" ,0203," W3" ,-149980.972,-42262.605
" Z" ,0344," L1" ,-149944.128,-42259.907
" Z" ,0345," L2" ,-149946.682,-42262.786
" Z" ,0346," L3" ,-149980.972,-42262.605
" Z" ,1001," E1" ,-149944.128,-42259.907
" Z" ,1002," E2" ,-149946.682,-42262.786
" Z" ,1003," E3" ,-149980.972,-42262.605
" Z" ,1001," A-30100004" ,-149944.128,-42259.907
" Z" ,1002," A-40100010" ,-149946.682,-42262.786
" Z" ,1004," A-48-1" ,-149983.138,-42260.261
" Z" ,0001," 30100001" ,-149940.555,-42266.480
" Z" ,0002," 30100002" ,-149941.359,-42265.814
" Z" ,0003," 30100003" ,-149942.123,-42286.258
" Z" ,0004," 40100001" ,-149943.246,-42272.480
" Z" ,0045," 40100002" ,-149944.369,-42259.147
" Z" ,0046," 40100003" ,-149945.690,-42231.654
  
```

コメント行は8行とする

① 道路区域点グループ
 「道路台帳管理システム」の画面上で表示しない測点については「識別子」を[D]とする。

② すみ切り頂点グループ

③ 官有敷(水路)グループ

④ 官有敷(里道)グループ

⑤ その他の測点グループ

⑥ 他工区の測点グループ

⑦ 公共基準点及び道路基準点グループ

「シリアルNo」は重複しない数字の組み合わせとする。例)は4桁であるが、桁数は任意で良い。

識別子 シリアルNO 測点名 X座標 Y座標

(留意点)

1. "識別子",シリアルNo,"測点名",X座標,Y座標の形式で入力する。
2. 入力は、左詰めとする。スペースやタブは使用しない。

(結線データフォーマット)

第59条 結線データは、以下に従って作成するものとする。

- 2 コメント行以外の文字は、すべて半角かつ大文字で入力するものとする。なお、スペース、タブは使用しないものとする。
- 3 結線データは、「識別子」、「測点名」の各項目で構成するものとする。
- 4 各項目の間は、[,] で区切るものとする。
- 5 「識別子」には、アルファベット大文字の [OC] [OR] [OS] [OW] [OL] [OE] [B] [K] を使用し、[”] で囲むものとする。なお、各々の「識別子」の意味は、第48条の規定を参照するものとする。
- 6 データの1列目に [*] (アスタリスク) を入力した行は、コメント行として扱うものとする。[*] は半角入力とする。コメント行はデータとして認識されないため、注釈及び区分に利用するものとする。
- 7 結線データの先頭に、保全工区名、保全工区番号、データ内容、作成年度(作成年月日)、修正年月日、作成会社を入力したコメント行を作成するものとする。入力の際は、ひらがな及び漢字(シフトJISコード)を使用するものとする。なお、コメント行は、サンプルのように [*] で囲むものとする。
- 8 下記に従って結線データをグループ分けし、かつ、①～⑦の番号順に整理を行うものとする。
 - ① 公共基準点及び道路基準点結線グループ : 「識別子」が [OC] である。
 - ② 道路区域点結線グループ : 「識別子」が [OR] である。
 - ③ 道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ : 「識別子」が [OS] である。
 - ④ 官有敷(水路)結線グループ : 「識別子」が [OW] である。
 - ⑤ 官有敷(里道)結線グループ : 「識別子」が [OL] である。
 - ⑥ その他の測点結線グループ : 「識別子」が [OE] である。
 - ⑦ 区画整理地区界線結線グループ : 「識別子」が [B] である。

9 結線データの入力例を下記に記す。

データを見やすくするためにスペースを用いて桁合わせを行う

コメント行の列幅は任意でよい

```

*****
*  保全工区名      : □□□ ← 保全工区名を入力する
*  保全工区番号    : ○○○○○ ← 保全工区番号を入力する
*  データ内容      : 結線データ  データを入力した年月日を( )内に入力する
*  作成年度(作成年月日) : 平成20年度 ( H21. 03. 31) ←
*  修正年月日      :           ← データの修正を行った年月日を入力する
*  作成会社        : △△△会社 ← データを作成した業者名を入力する
*****
" GC" " C24"
" K"  " 30100001"
" K"  " 40100001"
" K"  " 40100002"
" K"  " 30100002"
" OC" "
" K"  " 50100001"
" K"  " 40100001"
" OR" "
" K"  " R1"
" K"  " R2"
" K"  " R3"
" OS" "
" K"  " R125-S"
" K"  " R126-S"
" K"  " R128-S"
" OW" "
" K"  " W1"
" K"  " W2"
" K"  " W3"
" OL" "
" K"  " L1"
" K"  " L2"
" K"  " L3"
" OE" "
" K"  " E1"
" K"  " E2"
" K"  " E3"
" B"  "
" K"  " E1"
" K"  " 24-1"
" K"  " R101"

```

コメント行は8行とする

① 公共基準点及び道路基準点結線グループ

② 道路区域点結線グループ

③ 道路区域点(すみ切り頂点)結線グループ

④ 官有敷(水路)結線グループ

⑤ 官有敷(里道)結線グループ

⑥ その他の測点結線グループ

⑦ 区画整理地区界線結線グループ

識別子 測点名

(留意点)

1. "識別子", "グループ名" もしくは "識別子", "測点名"の形式で入力する。
2. 入力は、左詰めとする。

第4章 公共基準点及び道路基準点の記画像データ作成仕様

(データの仕様)

第60条 公共基準点及び道路基準点の記をラスターデータとして電子化する際に、次のファイルフォーマットを利用するものとする。

- ・TIFF (圧縮 (CCITT グループ4))

(データの精度)

第61条 ラスターデータ化を行う際には、以下の仕様に準拠したファイルとして作成するものとする。

項目	内容 (仕様)
縮尺	元資料 (A4) と同一サイズ
読み取り範囲	元資料と同範囲
解像度	300dpi
階調	2 階調

元資料と同一サイズでプリンタ出力をした場合、必要な情報が読み取れる精度の状態、原図を仕上げ、ラスターデータ化するものとする。

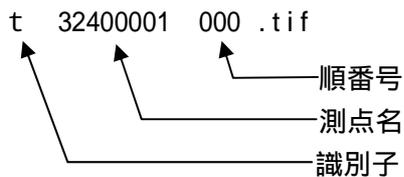
(ファイル名)

第62条 電子化を施したラスタファイル名は、次のとおりとする。

- ・ファイル名 t .tif
 - ・ t : 識別子 (半角英数字 小文字1文字)
 - ・ : 測点名 (半角英数字 8文字)
 - ・ : 順番号 (半角数字 3文字)
- 初期入力時は全て“000”となる)

(参考)

測点名「32400001」の場合、ファイル名は「t32400001000.tif」となる。



(電子媒体)

第63条 成果品の電子納品において、納品に使用する媒体は原則CD-Rとする。

付録

付録 1. 保全工区名・保全工区番号連絡書

付録 2. 成果ディスクデータ作成要旨（中心網地区調査測量）

付録 3. 成果ディスクデータ作成要旨（路線地区調査測量）

平成 年 月 日

保全工区名・保全工区番号連絡書

大阪市建設局測量明示担当 様

作業機関：

住 所：

T E L：

担当者名：

1. 委託名

2. 道路区域線確定測量実施保全工区

保全工区名	保全工区番号

3. 上記保全工区の成果ディスクに含まれる保全工区

英字	保全工区名	保全工区番号

付録2. 成果ディスクデータ作成要旨（中心網地区調査測量）

■座標データ

整理順	グループ種別	測点名	符番方法	測点名の例	不適切な測点名の例	文字数の制限
①	街区点及び道路区域点グループ	街区番号	[連番]	1, 24, 200	大24, 24A, 24-1, 1000	3文字以内
		街区点	[街区番号] + [-] + [連番]	1-1, 24-10, 200-1	200-123	6文字以内
		道路区域点	[R] + [連番]	R1, R115, R1001	r1, R1-1, R1A, R1", R100000	〃
②	すみ切り頂点グループ	すみ切り頂点	[街区番号] + [-] + [英字]	1-A, 24-A, 200-A	1A, 24-a, 200-AB	〃
		道路区域点（すみ切り頂点）	[R] + [連番] + [-] + [S]	R1-S, R115-S, R1001-S	r1-S, R1S, R115-s	〃
③	官有敷（水路）グループ	官有敷（水路）	[W] + [連番]	W1, W115, W1001	w1, W-1, W100000	〃
④	官有敷（里道）グループ	官有敷（里道）	[L] + [連番]	L1, L115, L1001	l1, L-1, L100000	〃
⑤	建築後退線グループ	建築後退線	[P] + [街区番号] + [-] + [連番]	P1-1, P24-10, P200-1	p1-1, P200-12	〃
		建築後退線（すみ切り頂点）	[P] + [街区番号] + [-] + [英字]	P1-A, P24-A, P200-A	p1-A, P1A, P24-a, P200-AB	〃
⑥	その他の測点グループ	その他の測点	[E] + [連番]	E1, E115, E1001	e1, E-1, E100000	〃
⑦	他工区測点グループ	他工区の測点	[英字] + [-] + [他工区測点名]	A-30200001, B-1-1, D-R1	a-30200001, C-1-1, E-R1	10文字以内
⑧	公共基準点及び道路基準点グループ	公共基準点及び道路基準点	[等級] + [区番] + [点番]	30100001, 40100001, 50100001		8文字以内

■結線データ

整理順	グループ種別	結線名	識別子	結線の種別
①	公共基準点及び道路基準点結線グループ	公共基準点及び道路基準点結線	[GC]	閉合
			[OC]	開放
②	街区点結線グループ	街区点結線	[GG]	閉合
			[OG]	開放
③	道路区域点結線グループ	道路区域点結線	[OR]	開放
④	すみ切り頂点結線グループ	すみ切り頂点結線	[GS]	閉合
⑤	道路区域点（すみ切り頂点）結線グループ	道路区域点（すみ切り頂点）結線	[OS]	開放
⑥	官有敷（水路）結線グループ	官有敷（水路）結線	[OW]	開放
⑦	官有敷（里道）結線グループ	官有敷（里道）結線	[OL]	開放
⑧	建築後退線結線グループ	建築後退線結線	[GP]	閉合
			[OP]	開放
⑨	建築後退線（すみ切り頂点）結線グループ	建築後退線（すみ切り頂点）結線	[PS]	閉合
⑩	その他の測点結線グループ	その他の測点結線	[OE]	開放
⑪	区画整理地区界線結線グループ	区画整理地区界線結線	[B]	開放

付録. 3 成果ディスクデータ作成要旨（路線地区調査測量）

■座標データ

整理順	グループ種別	測点名	符番方法	測点名の例	不適切な測点名の例	文字数の制限
①	道路区域点グループ	道路区域点	[R] + [連番]	R1 , R115 , R1001	r1 , R1-1 , R1A , R1" , R100000	6文字以内
②	すみ切り頂点グループ	道路区域点（すみ切り頂点）	[R] + [連番] + [-] + [S]	R1-S , R115-S , R1001-S	r1-S , R1S , R115-s	〃
③	官有敷（水路）グループ	官有敷（水路）	[W] + [連番]	W1 , W115 , W1001	w1 , W-1 , W100000	〃
④	官有敷（里道）グループ	官有敷（里道）	[L] + [連番]	L1 , L115 , L1001	l1 , L-1 , L100000	〃
⑤	その他の測点グループ	その他の測点	[E] + [連番]	E1 , E115 , E1001	e1 , E-1 , E100000	〃
⑥	他工区測点グループ	他工区の測点	[英字] + [-] + [他工区測点名]	A-30200001 , B-1-1 , D-R1	a-30200001 , C-1-1 , E-R1	10文字以内
⑦	公共基準点及び道路基準点グループ	公共基準点及び道路基準点	[等級] + [区番] + [点番]	30100001 , 40100001 , 50100001		8文字以内

■結線データ

整理順	グループ種別	結線名	識別子	結線の種別
①	公共基準点及び道路基準点結線グループ	公共基準点及び道路基準点結線	[OC]	開放
②	道路区域点結線グループ	道路区域点結線	[OR]	開放
③	道路区域点（すみ切り頂点）結線グループ	道路区域すみ切り頂点結線	[OS]	開放
④	官有敷（水路）結線グループ	官有敷（水路）結線	[OW]	開放
⑤	官有敷（里道）結線グループ	官有敷（里道）結線	[OL]	開放
⑥	その他の測点結線グループ	その他の測点結線	[OE]	開放
⑦	区画整理地区界線結線グループ	区画整理地区界線結線	[B]	開放